

9月10日 火曜日 晴

昨日まではシート1枚だけ掛けて寝ても平気でしたけれども今朝方は小寒く、今晚からは毛布を掛けて寝はじめなければいけないような気がします。もう秋がやって来たことを皮膚で感じはじめました。

今日もいつものように10時から講習が始まりました。午前中はアートフラワーでした。アートフラワーでは、土曜日に染めておいたばらの花びらを、鏝を暖めて、花びらの形に整え、それにワイヤーをボンドで貼りつけました。

午後からはお料理の講習でした。今日は、さつまいもで作るスイートポテトとキャロットケーキと抹茶ようかんとパウンドケーキとシュークリームの作り方を習いました。最後に6人のグループに分かれ、各グループでシュークリームを自分達で作りました。

3時にはもう全部出来上がっていたので皆で作ったお菓子でお茶にしました。このセンターの職員の方々も「きれいでおいしく出来ました」と言って下さいました。お茶が終わってから私のグループは明日、食事当番なのでスーパーに買物に行きました。

お料理の時間の楽しみは、変わったごちそうの作り方を習う事と出来上がったものを皆で試食することです。

この研修のおかげで子弟研修生とも仲良くなれ、皆で楽しく、まるでままごと遊びでもやっているような毎日を送っています。

玉田 ルシア めぐみ

9月11日 水曜日 曇り時々雨

最近、私達は7時頃起きるようになりました。朝食を終えて、各部屋が掃除をしました。私の部屋は階段と玄関の掃除をしました。

講義は10時に始まりました。生花と茶道の講習を受けました。人数が多いので、2グループに分けられました。それは次のようになりました。

A B

10時～12時 生花 茶道

13時30分～15時 茶道 生花

15時10分～17時 AとB一緒になって茶道をやります。

私はAのグループで、午前中は生花をやりました。今日は葉と枝と花を調和した生け方を習いました。先生のをみると簡単に思いました。けれども、自分で実際にやってみるととても難しいものです。

昼食後に茶道の実習をしました。茶道は細かい動作があるので、不器用な私にはとても難しく感じられます。でも、日に日に、皆上達しているようです。先生方も何となく落ち着いて、指導をなさっ

ているようでした。2グループに別れて、皆楽しそうに実習していました。

国際女子研修センターへ来て、もう2週間に渡っています。色々な講義を受けました。その他、一番勉強になるのは人間関係です。今日まで、皆で力を合わせて、楽しく頑張っています。ずっとそういう気持ちで続けるようにお祈りしています。

串 間 ジルダ

9月12日 木曜日 曇り時々雨

今日は楽しい一日でした。朝の10時から午後の5時まで「はり紙」という日本の独特な芸術を官地先生と他の3人の先生に教えていただきました。「はり絵」は大変参考になりました。私は始めてそういう芸術を勉強いたしましたのでとっても珍しい変わった講義と思いました。はり絵を身につけて国へ帰り学校で生徒達に教えたいと思っております。でも、ペルーには「和紙」という紙がありませんので他の材料を使って「はり絵」を作る方法を工夫しなければなりません。

今日の作品名

ハイビスカスの花

ポピーの花

りんどうの花

ひまわりの花

コスモスの花

ぶどう

池 田 グロリア

9月13日 金曜日 曇り

久しぶりに青空の見えない一日だったが、風もなく蒸し暑かった。けれども元気一杯国際女子研修センターで勉強を続けております。

今日、朝9時30分から太田先生が茶わん蒸しの作り方を教えて下さったのでとっても嬉しかったです。その後、10時から12時まで育児の理論と実際について青木先生の授業がありました。まず、赤ちゃんが生まれるまでのいろいろな説明を聞かせていただきました。写真も見せて下さったので、たいへん参考になりました。それから12時に、友達みんなが作った、まぜごはんや出来上がった茶わん蒸しなどを先生方と一緒にいただきました。13時30分から15時まで赤ちゃんの抱き方や、どのように赤ちゃんをお風呂に入れさせるとか、どのようにミルクや水を飲ませる事について先生の説明がありました。その後私達も実習をする事ができて楽しかったです。15時15分から17時まで0才から1才半までの赤ちゃんの成長についていろいろ説明がありました。

17時に授業が終わりましたので、急いで横浜のセンターに帰りました。あちらで、Aコースの先生

方の送別会が行われました。私達、Bコースとして、研修生、センターの皆様でAコースの先生方を囲んで、とっても楽しい一時を過ごす事ができました。たった3ヶ月のおつき合いでしたが、私達の間深い友情が生まれました。別れがつらくて涙もながしました。

今年の夏は、きっと一生忘れられない心の中に残る思い出になる事でしょう。

杉山 ノルマ クリスティーナ

9月14日 土曜日 曇り時々雨

国際女子研修センターのプログラムによって、今日は歌舞伎を見に行きました。この前、初めて見た歌舞伎は(女殺し油の地獄)は、国立劇場にて行われ、とてもおもしろかったです。

ですから、今日も楽しみにしていました。題は、桐一葉、藤娘とお祭りでした。桐一葉は、明治になって初めて書かれた歴史劇です。日本の歴史劇を知らないため、それに古い日本語を使っていたので内容は、はっきり分かりませんでした。最初の2時間は、皆眠そうな顔をしていました。

“藤娘”と“お祭り”の舞台はきれいでした。踊りも上手だったので、その点々は、目をパッチリあけて「良かった」と言っていました。

井内 典子 スエリ

9月16日 月曜日 曇り雨

国際女子家研修センターでの研修は、もう最後の週に入りました。昨日から急に寒くなり、雨が降り続けているので、何となく一日中寂しい雰囲気でした。皆、疲れが出て来たのではないかと思います。子弟研修生達は、もう帰国する時期なので、色々な手続きや、荷造りで心の準備と同時に、ここでの研修があるので大変だと思います。私達日語教師も、日本に来て以来、短期間に生活する場所が何回も変わっているので、どこかに行くたびに新しい環境や規律に慣れなければならないので、これで、余計な疲れが出て来ると思います。それにしても、皆、一生懸命に頑張っています。いろんな所でも研修させていただいて、有り難いんですが、あっち行ったり、こっち行ったりだけで、そのような神経をってしまうので、落ち着いて勉強する気分にはならないと思います。先月は特に酷かったと思います。玉川大学の塾を出て、1週間後に、ここの国際女子研修センターに入りました。国際女子研修センターでの研修は、後にしていただいた方が良くと思います。色んな所で、様々な人とうまく集団生活をする事は、人生の一つの大切な勉強だと思いますが、私達は日語教師としての研修の資格で来ていますので、最近は何の目的で来ているのか分からなくなって来ました。

今日の講義は、花道と茶道でした。今日で4回目でしたので、皆の進歩が見られました。残念ながら、この講義は、明日で最後です。私自身、花道にはあまり興味がありません。けれども、茶道の方は気持ちが落ち着くので、大変良かったと思います。帰国してからも続けたいと思っています。

矢口 眞理子

9月17日 火曜日 曇り

国際女子研修センターでの研修は今週で終了します。後4日間、一息ですのでみんな最後まで頑張る気持ちで一杯ですが、いくつかの人の顔には疲れが見えます。環境、気候が変わり、厳しいスケジュールですので、体だけでなく精神的にも疲れています。

今日は、昨日と同じく茶道と花道の実習がありました。今日で5回目、最後の茶道と花道の授業が行われました。初めの授業の雰囲気とは全く違い、落ち着いてお手前をすることが出来ました。私のグループは、今日午前中、茶道の実習をしました。最後の授業でしたので、みんな頑張って精一杯お点前をしました。又、お互いにおじゃましないように相手のお点前を尊敬し、じっくり味わい、とっても良い雰囲気でした。静かにお点前をし、まわりのどんな小さな音にも気を散らすことなく、心がすっきりしました。一つ一つの動作をすることによって自分の気持ちを落ち着かせ、一瞬、自分の心を見つめることが出来たような気が致します。

私達は5日間、5回の授業に亘って盆略点前を覚えました。何回も何回も同じお手前を繰り返し、致しました。同じお手前であっても毎回違う環境、違う気候、違う一時でした。初めの日には暑くて扇風機をまわしながら、お手前をしました。こないだは雨がしょぼしょぼ降っていました。今日は涼しく、うす曇った一日でした。教室の状態もいつもと変わっていました。このように同じことを何回やっても一時一時違い、やっぱりいつも新しい気持ちで、又時間を大切に味わいながら生きていかななくてはいけないなあとふと思いました。茶道をする時道具、又、厳しい美しい動作、きまりだけでなく、何よりも辺りの空気、雰囲気が大切なあとつくづく思います。今日の授業で心が休まり、すっきりし、安らぎの一時を味わえました。帰国してから、そして日本の残っている後の6ヶ月間ずっと、茶道を習い続けて生きたいと思います。きっと、自分に良いもの、役に立つものを身に付けることができるのではないかと思います。

午後から生花の授業がありました。蘭、かすみ草そしてフェニクスというお花で、生花をしました。自分の好きなように花を生けてみて、その後先生に見ていただきました。それぞれ基礎を守りながら自分の個性を生かして花を生けたので、同じ花であっても実に様々な形、感じが出ました。短い期間でしたが、お花を味わうこと、さらに美しくすることを覚えることが出来、良い思い出、良い勉強になったと思います。

淵岡先生も吉永先生も一生懸命、熱心に教えて下さり、本当に一日中経験のない18人の生徒に教えることは決して容易なことではないと思います。心から感謝致します。

夜は5人の友達、Bコースの日本語教師2人又、子弟研修生3人、今月誕生日を迎えるということ、小さなケーキでその友達の誕生日を祝いました。

この研修で、とっても良かったと思う一つのは、私達、日本語教師と子弟研修生が友達になり、一つの大きな仲間になれたということです。様々な国・家庭・環境からこの遠い日本に何かのきっかけで、集まり、このように巡り会えることが出来、不思議な気持ちと同時にとってもうれしい気持ち

がします。

この機会を大切に、これから残っている4日間をみんなで乗り越え、良い思い出を一杯つくりたいと思います。

上田 恵美

9月18日 水曜日 晴

今日も先日と同じように肌寒い風が吹いています。秋がだんだん近づいて来たのでしょうか、朝夕、少しずつ冷え込むようになりました。

今日も毎日のように朝7時に起床し、7時半頃に朝食をいただきました。朝食を終えてからめいめ定められた所の掃除を致しました。

10時からアートフラワーの授業が始まりました。今日が最後の授業となりますので、白井先生はとっても張り切っていました。今日は先週に色を染め、形を整えていた「ばら」の花びらを一つずつワイヤーにボンドで貼りつけました。時間がたつにつれて、少しずつバラの形に似た花ができました。全員、それぞれ、自分のバラを一生懸命作りました。始めてアートフラワーと言う言葉を聞いた研修生も中にはいましたが、皆、とっても上手にバラを作りました。白井先生は感心して私達の作ったバラを見て、少し悪いところを訂正して下さいました。皆、それぞれ自分の国で見られるような形、又は色をしたバラを作りました。小さな女子研修センターの一室は、各国の様々なバラで一杯になりました。全員がバラを作り終えてから昼食をいただきました。

ポテト、鳥肉、ハムやチーズなどでできているとってもおいしい「パパンニャ」をいただきました。

子弟研修生の徳永ソニアさんが今日までで研修を終えたので全員で一曲、歌をプレゼントとして歌ってさし上げました。

朝に引き続き、午後の一時からアートフラワーの授業が始まりました。まだ、バラを作り終えていない人達はバラ作りにとりかかりました。もうバラを作り終えていた人達は、かすみ草、ポピーやカーネーションを作り始めました。愛らしいかすみ草、又はほんわりとしたポピー等を作っているうちに、どんどん時間がたち、いつの間にかもう5時になっていました。私達は後片付けをして、夕食の用意を始めました。

今日も皆で一日中力を合わせて頑張りました。もう後3日で女子研修センターでの研修は終わります。残りの3日間を精一杯頑張りたいと思っています。

宗 仁子 マルガレッタ

9月19日 木曜日 晴

朝、7時頃起床し、おいしい朝食をいただき、今日も新しい一日が始まります。

はり絵の授業も、今日で最後です。みんなは、はり絵がとても気に入ったようで、楽しくやっ

ます。かぶと、ひな人形、遊ぶ子供達、梅、竹など、いろいろなはり絵のモデルがあって、皆、それぞれ好きなのを3つ作りました。はり絵は、がらの折り紙、又は、そめた和紙を使います。でも、国では残念ながら、そういった紙を手に入る事はそう簡単ではありません。ですから、ちょっとした雑誌やチラシを用いて作るのもいいんじゃないかと思います。

でも、ほとんどの人は、ここから、たくさんはり絵用の紙を買って持って行くと行っていました。それほど、よかった芸術でした。こちらでの研修はもうすぐ終わるけど、皆、最後まで、一生懸命頑張っています。ただ勉強だけではなく、友情の輪を大切に生かしながらやっています。そして、今晚、9月に誕生日をする丸山さん、井内さん、矢口さんそして富谷さんのため、ケーキをプレゼントし、楽しい忘れられない思い出が残りました。

粉川 イザウラ 幸枝

9月20日 金曜日 晴

今日は、鎌倉見学がありました。私達は、朝6時に起床しました。それから色々な用事をすましてから、朝食をいただきました。8時45分に辻堂駅までタクシーで行きました。鎌倉駅に到着してから、まっすぐ鎌倉の市役所まで行きました。

市役所では、教育委員会の指導課長、曾根原先生から鎌倉について色々な説明がありました。その後、市役所から鎌倉の歴史的な細道を歩きはじめました。一日で、色々な所を訪問する予定でしたので、あわせて走りながら見物しました。

最初には、海蔵寺を訪問しました。それから、近道をするのに、山を登りながら、東慶寺につきました。松ヶ岡宝蔵で、お坊さんから色々なことを聞きました。もう少し歩き、円覚寺の門の前、門前で精進料理をいただきました。13時までゆっくり休んで、それからまだ歩きはじめました。建長寺を訪問し、最後に円覚寺で、彼岸についてお坊さんが説明してくださいました。17時に鎌倉の見学が終わりました。

今は、夜の9時、みんなは、それぞれの部屋で明日の準備をしています。今日で、国際女子センターでの研修は終り、最後の夜です。みんなは、海外移住センターに戻ることができるので、喜んでいきます。国際女子センターでの3週間の研修は、いつまでも私達の心には残るでしょう。

菅野 テレーザ 百合子

9月21日 土曜日 晴

今日は女子研修センターでの最後の日です。気のせいかもしれませんが、皆一段とおしとやかに、美しく、そして責任を持って色々やっているように見えます。

皆、いつもと同じ時間に起き、朝食をすませてから2グループに分かれ、1つのグループは台所で送別会の昼食の用意をし、もう1つのグループは私達が3週間お世話になったこのセンターの大掃除

をしました。台所からはいい匂いがしてくるし、センターは窓ガラスまでピカピカになり、とても良い気分でした。

午前10時から30分間反省会がありました。反省会では、この研修について1人1人自分の意見を述べました。毎日文句ばかり言っていた人達でもその場では本当の事を言わないで良い事ばかり言ったのにはびっくりさせられました。私はその人達にはもっとはっきりしてもらいたい、そして今後私達と同じようにして来る人達の為に悪い所は変えてもらい、不足している所は足してもらった方がいいと思います。

午前11時から閉講式が行なわれ、11時30分から私達18名の手作り料理で昼食会を行ないました。18人で心をこめて一生懸命作った最後のお料理はいつもより、おいしく思いました。「これでやっとなお嫁さんになれるのよ。」などと冗談を言いながら皆で賑やかにやりました。

昼食会が終わってから小南先生に感謝の印に、ぞうりを差し上げました。それから皆で後片付けをして我が家である移住センターに帰って来ました。

午後3時から、今日丁度休みの日だった江崎さんがわざわざセンターまで来て下さり、出身地研修の件について色々と説明して下さいました。

私達は3週間の花嫁修業で色々なことを学びました。でも、とても素晴らしいと思ったのは友情の輪がだんだん強く大きいものになったことです。中にはグループ行動に反した人もいましたけれど、それは自分で良く反省してみたら良いと思います。

玉田 ルシア めぐみ

10月7日 月曜日 晴

昨日、私達は、出身地研修から戻りました。初めて、皆10日間離ればなれになりました。私は何となく物足りなく思ったこともありました。でも、色々ためになったと思います。昨夜、遅くまでルシアさんと話していました。そのために今朝、起きるのは辛かったです。玉川学園へ着くまで皆自分が研修したことや旅行のことを話して行きました。皆、楽しい研修をしたように感じました。

大学で1時限目は日本語教材でした。初めて玉川の学生と一緒に講義を受けました。先生から私達に自己紹介するように言われ、前に行きました。それから「おおきなかぶ」という児童作品をどんな目標で低学年に教えたらいいか先生が説明して下さいました。

玉川の学生と一緒に講義を受けるのは初めてですからまだお話をしたことがありませんでした。友達になれたらいいと思っています。今日、先生の説明は分かりました。あの程度だったら、講義についていかれると思います。

2時限目は日本史でした。私達は月末に京都と奈良へ3泊4日で旅行します。その時に先生も一緒に行ってください。それで、先生はスケジュールを持って来て、説明して下さいました。私達はこの旅行を楽しみにしています。それで、講義は奈良時代のことについてでした。

最後の講義は幼児教育でした。私達は自己紹介してから、入門が行われました。
今日から12月20日まで、頑張りましょう。

串 間 ジルダ

10月10日 木曜日 晴

今日は、体育祭です。センターの近くにある学校で朝早くから花火が上げられ、その音で目が覚めて起床しました。私達はセンターから午前7時30分に出発し、玉川学園で行なわれた運動会を見に行きました。玉川学園の第57回の体育祭は記念グラウンドで行なわれ、9時30分に華やかな花火が上げられ生徒の行進から始まりました。

幼稚部、小学部、中学部、高等部、大学部の生徒達全員が赤、白、青、黄それぞれ4つのグループに分けられ、音楽のリズムに合わせて来客の前を通り、並びました。続いて、国旗掲揚、それから日本国歌を歌い、玉川学園国際教育室長小原芳明様のあいさつで運動会が開かれました。

1. 開会式 全員
2. 徒競走 幼稚部・小学部
3. 一心同体 中学部女子
4. スウェーデン式綱引き 大学部女子
5. 徒競走（決勝） 小学部・中学部・高等部
6. 基本体操 大学部男子

プログラムは27番まで出ました。中で一番良かったと思ったのは幼稚部のプレイ・バルーンでした。小さな子供達が担任の先生方と一緒に動作をして風の動きでバルーンが色々な形になり、最後はそのバルーンの中に皆が入ってふくらませて飛んで行ってしまうような気がしました。南米に帰ったらこちらで見た事、学んだ事を実行したいと思っております。

私は玉川学園の運動会を見てから「運動会」の本当の意味が分かり、体育もどんなに大切な事かも分かりたいへん嬉しいです。

玉川学園の皆様今年の運動会は最高でした。おめでとうございます！

池 田 グロリア

10月12日 土曜日 晴

今日は、方先生の表現教育の授業がありました。いつもは、講義と実習があります。でも今日は、講義だけで時間が過ぎてしまいました。

- ・講義の内容
- ・現代の日本の教育
- ・児童演劇の領域

来週は、実習があるので、楽しみにしています。今日は3人も授業に参加出来なかったことを残念に思いました。

これから、だんだん寒くなりますので、心も体も大切にしましょう。

井内 典子 スエリ

10月14日 月曜日 雨

いつものように、朝早く起き、みんなでそろって玉川へ。何日間か天気の日が続きましたが、今日は朝から雨でした。

1時限目 日本語教材研究 長野先生

授業内容 「大きなかぶ」

そのロシアのお話について頭の中に描く事や、教えるための材料や、改善と計画などの説明を聞かせてもらったので、とっても参考になりました。

2時限目 日本史 瀬山先生

授業内容 平安時代

本日、京都の平安時代について、色々説明していただきました。

3時限目 幼児教育 永井千恵子先生

授業内容 ローレンス コールバーグ

「ハインズストーリーを読みました」

その内容について、みんなで話し合っ、オーラルリポートがあり、一人一人の意見を聞かれました。

4時限目 音楽 小宮路先生

「良い教師

良い教材

良い生徒」

この3つの深い意味を私達に先生が伝えて下さいました。その後、皆一心になって、歌ったり、踊ったり、とても楽しい1時間45分を過ごす事ができました。午後6時30分にセンターへ帰りました。今日も良い一日でありました。

杉山 ノルマ クリスティーナ

10月16日 水曜日 晴

何日前から、本当に秋に入ったと言う感じがして来ました。夕方から朝まで、外の温度がグーッと下がるので、結構寒くなって来ました。日本の真夏の辛い蒸し暑さに比べますと、今の気候は寒くてもなにをするのにも、楽だと思えます。

今日の最初の授業は、長野先生の国語教材研究と言う授業でした。長野先生が「あいうえお」の歌の詩を授業に持って来ました。「朝日が赤いよ、あいうえお」と始まる詩です。皆で、声を出しながら、この詩を2、3回読みました。しかし、なかなか、歌らしい雰囲気にはなりません。長野先生が、私達に注意したのは、その詩のリズムの事でした。先生がおっしゃるのは、そのリズムを掴む事が出来たら、子供は自然に「あいうえお」を覚えていくし、自然に正しい発音を出来るようになると言う事でした。もう一度、私達が、その詩を読みました。リズムを皆で感じ始めたのをすぐに分かりました。そのリズムに乗って来たので、とても面白かったです。この授業で早口言葉も、正しい発音の問題のために、勉強しました。大変参考になった授業だったと思います。

午後、書道のお稽古がありました。5人ずつの2組に分れ、座敷で、お稽古をしました。しかし、お稽古と言っても、今日の書道の時間は、授業の形で行なわれました。石川先生が書道の由来や歴史の事について、お話をしました。書道に関する道具も一つ、一つ説明をして下さいました。先生の作品も拝見させていただいたので、私は大変感動しました。次の時間では、私達も何か書くそうです。大変楽しみにしています。

お天気も良かったし、授業もとても面白かったので、今日は最高でした。

矢口 真理子

10月17日 木曜日 曇り雨曇り

今日、センターを出る時、風があまりなく、空が灰色で雨が降りそうでした。あまり寒くなかったので、うす着で大丈夫だと思ったら大間違いでした。玉川学園に着いたら冷たい風が吹き始め、ずっと体が冷えました。

1時限目に千葉先生の音楽の授業が中学部の音楽室で行われました。朝、早かったので、歌い始めても声が思うように出ませんでした。練習不足というより、あまり普段声を出していないためであるかもしれませんが、本当にかすかしかみんなの声が聞こえませんでした。でも相変わらず、とっても良い授業でした。先生の指導力、さっぱりした性格のためであるとも思いますが、とっても楽しく歌えましたし、やさしい、子供に教えやすい、動作をしながら歌える歌を覚えました。授業中、外を窓から見た時、中学部の前にある広い記念グラウンドが見え、雨がザーッと降っていました。美しい風景でした。

2時限目は、佐藤先生の美術の授業でした。先生が変わった、明るい教室、なつかしく感じました。先生は今日の授業のために、スライドを用意していらっしゃいました。日本の最も代表的な美術、近代的なものも少しございましたが、歴史のある伝統的な日本にしかない美術、芸術を見せて下さいました。私達が京都と奈良を見学することを先生は御存じでしたので、仏様、お寺、神社が出て来ると先生は詳しく説明して下さい、何を、そしてどういうところに特に気を付けて必ず見て来るようにと、いうことを教えて下さいました。東洋と西洋の歴史、文化の違いがはっきり美術を通して確めること

ができました。

昼食の後、1時半に、国際部の教室で、京都、奈良見学についてのいろいろな打合せがありました。瀬山先生もいらっしゃって、スケジュールについて、細かく説明して下さり、ますます待ち切れなく、月曜日が楽しみではないです。

最後に、4時限目に海外日本語研究、上原先生の授業がありました。

まず、最初に大人と子供に日本語を外国で教える場合の違い、それぞれどのように言葉を獲得するのか、そして、語学教育と人間教育の違いについて、お話をしました。大人は言葉を覚える時、知情的に覚える。しかし、子供は感情的に言葉を身に付ける。言葉には知と感の二面性があること、その二面性が分かっていたら、本当に言葉を知っているということを先生がおっしゃいました。書かれてある言葉に対して、何か、かかわりがなければ、言葉はその人には言葉ではない。

今、日本に来ている私達に強くおっしゃったことは「言葉を一杯覚えて帰るより、日本の心を理解して帰れば、日本語はそのうちに分かって行く。今、間違っているところを直しても、心、元が間違っていたら、なかなか直すのに難しい。知を覚えても情を理解していなければ、知はなかなか発達しにくい」ということでした。

最後に、先生には言葉を覚える時、実はあともう二つのことに気を付けなければなりません。それは、かまえと言葉作業です。しかし、もうあまり時間がなく、先生はさっと説明して下さいましたが、はっきり分かりませんでしたので、次の授業にまたゆっくり、説明を聞きたいと思います。相変わらず、上原先生の授業はいろいろ考えさせられます。

10月17日 金曜日 晴

もう秋もだんだん深まって来たようです。朝夕、とっても冷えるようになりました。今日も全員朝6時に起床して、6時半に朝食をいただきました。7時15分にセンターを出発、玉川学園に8時45分頃に着きました。そして9時から講義が始まりました。

○ 1時限目 文章表現 文Ⅱ 503号室 金平先生

伊豆で行なわれた学園劇夏期大学について色々な人が述べた意見が載っているパンフレットをいただいて読みました。そしてその文章の表現の仕方について金平先生が色々と説明下さいました。その後、接続詞、順接や逆接についても説明していただきました。金平先生の講義が終わると同時に私達は大体育館へと向かいました。

○ 2時限目 体育 大体育館 三橋先生

音楽を聞きながら、リズムを感じながら、体をいろんな形に動かしてリラックスいたしました。三橋先生は私達のリズム感を磨いて下さいました。三橋先生の授業は音楽のリズムと共に、12時頃、楽しく終わりました。

三橋先生の授業を終えてから、昼食をいたしました。全員、学校食堂へ向かい、そこで各々自分の

ほしい物をいただきました。

午後1時から片山先生の講義が始まりました。

○ 3時限目 文法 短会 片山先生

片山先生は、私達に文法を教えて下さいました。現在、日本の中高等学校の生徒が習っている学校文法（規範文法）についていろいろと説明なさっていました。

片山先生はまず始めに、「文」について色々説明ささいました。その後「文節」、「自立語」と「付属語」について教えて下さいました。最後に単元や用言、そして活用のあるものと活用のないものについて説明ささいました。ちょっと難しいですが、文法は日本語を外国人に教える場合に、とっても必要なものなので色々役に立ちました。

○ 4時限目 音楽 小学部音楽室 小宮路先生

まず始めに、「もみじ」と「秋の歌」を歌いました。その後、小宮路先生は「生徒の誕生の日に名前を黒板に書いて上げて、一人一人の生徒に関心を持つことが教師には必要だ」とおっしゃいました。このような小さな心づかいを小宮路先生は「記憶の花束」と名付けていらっしゃいます。その次には体を動かしながらリズム遊びをいたしました。

そして最後に「ごろりんすいか」の紙芝居に使う教材を全員が一つずつ作りました。とっても、かわいすいかがたくさんできました。その教材を使って紙芝居をやってみました。とっても楽しいでした。ブラジルへ持って帰って是非子供達に見せてやりたいと思っています。

4時10分に小宮路先生の授業が終わりました。私達はそれから電車で根岸まで帰って来ました。5時半にセンターに着きました。6時に食堂で夕食をいただきました。今日は、ちょっと寒かったせいなのか、おみそ汁をとってもおいしく感じました。

6時半に夕食を終え、7時から、現在センターで研修を受けている海外開発青年の皆様方に、ポルトガル語やスペイン語を9時まで教えました。

今日は、とっても忙しい一日でしたが、色々、とってもためになることをたくさん学ぶことができました。本当に意義のある一日でした。

宗 仁子 マルガレッタ

10月18日 土曜日 晴

秋とは一番心地よい、季節だとよく聞くけど、熱帯地方から来たほとんどの私達には、何だか、とても寒く感じます。けれども、皆、朝早く元気よく大学へ通い、朝夕の冷え込みには負けていません。

さて、今日の1時限目は表現教育でした。いつものように、音楽を聞きながら体を動かし、同時に体全体をリラックスしました。そして、詩を朗読しました。ただ、読むだけでは無く、言葉一つ一つにある意味を感じ、リズムに合わせながら、それをはっきりと読む練習でした。又、早口言葉もおもしろいのを少し唱えました。

ある学者の研究によると、日本人の音を感じる能力の動きは他の国の人達のよりも、すぐれていると、先生はおっしゃいました。その例に、日本語の特徴である擬態語、擬声語の事を話してくださいました。そして、その擬態語、擬声語、いわゆる物の音を声に出し、体を使いながら、機械になるような遊びをしました。汽車、時計、お菓子を作る機械など、いろいろ出ました。

2時限目は、文章表現でした。先生は、昨日の続きを、皆と一緒に語り合いました。パンフレットに出ていた難しい漢字や熟語の説明をして下さいました。中では、さようなら（左様ならば失礼します）や今日は（今日はいかがですか…）などの進展を見せて下さいました。そして、形式段落と意味段落の分け方を教えてもらいました。

忙しい毎日が続いてたけど、今日でやっと週末です。来週の京都、奈良の楽しい旅のため、ゆっくり休みたいと思います。

粉川 イザウラ 幸枝

京都 10月21日 月曜日 晴

今は、夜の10時です。各自部屋でゆっくり休んでいると思います。今日は、忙しい一日でした。朝8時36分発（ひかり24号）で、新横浜を発ち京都駅に、11時13分に到着しました。3時間の旅はとても楽しかったです。なぜなら、今回私達の世話を下さる瀬山先生が色々な話をして下さいましたから…。その後、京都を見物しました。

大徳寺 大仙院

金閣寺

竜安寺

天竜寺

嵐山

やはり、京都へ来たのだと思いました。今日の見学の中で特に印象に残ったのは、金閣寺でした。さすが写真や父母から聞かされていたとおりの物であった。私には、もっと輝いて見えた。感動と嬉しさと胸がいっぱいになり、やはり目的地へ着いたと思いました。また、明日も一日京都見学があります。明日は京都の東山方面を見学する予定です。瀬山先生、今日は、どうもご苦労さまでした。

菅野 テレーザ 百合子

10月22日 火曜日 晴

京都旅行の2日目。昨日の疲れで今日は時計の鈴が鳴るまで目を覚まさず、ぐっすりと寝ました。午前7時30分にホテルのロビーで集まり、皆で朝食をとってから、8時30分に昨日と同じタクシーで見物をはじめました。今日は京都の東山方面へ行きました。

最初に銀閣寺へ行きました。私達の行った時間はもう既に修学旅行の生徒達でいっぱいでした。銀

開寺そのものは素朴で、それが紅葉しはじめた庭に囲まれている景色を見ると、とても心が落ち着き、まるで絵の中にもいるような感じがしました。

そこから、又タクシーに乗り、平安神宮の前を通り、八坂神社の前を通り、博物館前にある三十三間堂に行きました。このお堂に入ったとたん、なんとも言えない奇妙な感じがし、さむけがしました。1032体の像が、ずらりと並んでいて、美事に正面から見ると1つ1つ入れ変わっているのですけれども斜めから見ると一直線に並んでいるのです。まだまだ感動させられたのは、その1つ1つの像の顔付きです。中には考え込んだような表情やとても平和な表情や怒った表情など全部それぞれ違うのです。この1032体の像の後側には観音二十入部衆と入って篤信者を守る神の像がありました。これらの素晴らしい顔付きや姿勢にも圧倒させられました。

三十三間堂を出てから清水寺へ向かいました。途中までタクシーで行き、そこからは夜まで歩いて回りました。清水寺の舞台は美事でした。背景の山もじっと見ていると、なんとなくその自然に心も体も包まれてしまいそうな気がしました。

清水寺をお参りしてから、沢山お店が並んでいる所で皆自由に買物をしながら、だんだんと清水寺を後にしました。お店にはきれいなものがずらりと並べてあり、何もかにも、ほしくてたまりませんでした。そこから円山公園を通り、日本で一番古い「都ホテル」や一番古い発電所の前を通り過ぎて、約40分程歩いて、平安神宮の近くの「順正」と言う所で湯豆腐料理で昼食をしました。とても日本のお座敷で、おいしくいただきました。

昼食後、私達は平安神宮のすぐそばまで時代祭りを見に行きました。そこへ着いたのは午後2時頃でした。それから20分程してから行列が始まりました。男女数百名が平安時代から明治維新までの時代の衣服をととのえて歩くのを見ていると、まるで絵巻き物を少しずつ広げて行っているように感じました。

時代祭りが終わってから、私達は京都の中心の方へ歩きながら行きました。途中で喫茶店に入ってから寺町やブラジルの「MERCADO」に似ている錦市地を通りぬけ、ちょっと町外のお店でとてもおいしいとんかつ定食をいただいてからホテルに戻りました。それはもう午後7時30分頃でした。今日は、皆疲れたとみえて、午後11時頃はもう皆床についたようです。瀬山先生のおかげでこの旅行は意義ある、とても楽しい旅行になりました。

明日は京都を去り、奈良へ行きます。どうか明日も良いお天気でありますように…

玉田 ルシア めぐみ

10月23日 水曜日 晴

京都を後にして、奈良へ向かいました。午前中に奈良へ着いて、バスで法隆寺まで行きました。法隆寺は京都で見たお寺の感じとはちょっと違っていました。飛鳥時代の特徴がありました。金堂の中で飛鳥時代の代表的な釈迦三尊像や薬師如来像などを見ました。それから歩いて、中宮寺へ向かいま

した。中宮寺は飛鳥時代の最もきれいな本尊弥勒半跏像が祀ってありました。半跏の姿勢は左の足を垂れ、右の足を左ひざの上に置き、右手を曲げて、その指先はほのかに頬に触れている造形でした。それからバスに乗りました。しかし、そのバスは薬師寺には行かないので、途中で降りて、電車で降きました。薬師寺に行く前に昼食をしました。日本料理でとてもおいしかったです。

薬師寺の金堂の中に薬師三尊像が祀ってありました。薬師如来を中央に、向かって右が日光菩薩、左が月光菩薩、あわせて薬師三尊と言われています。私達の心身の病気を救って下さる仏様だそうです。金堂を中心にして両側に塔がありました。東塔は白鳳時代の建物で、本米お釈迦様のお墓です。西塔は国民の協力で昭和56年4月新しく建てられました。

薬師寺で年に2回だけ参拝出来る吉祥天女画像を参拝することが出来ました。吉祥天女は幸福と平和と美の女神だそうです。

最後に歩いて唐招提寺に行きました。唐招提寺には千手観音立像がありました。薬師如来と同じに困っている人や病気になる人を救って下さるようです。それからバスに乗って、近鉄ターミナルへ行きました。奈良駅でロッカーに入れておいたトランクを取りに行き、ホテルへ向かいました。ホテルは二人部屋でした。私は井内さんと一緒でした。皆、シャワーを浴びて、夕食に出かけました。奈良公園を通って、レストランに着きました。洋食料理で、とてもおいしかったです。先生に美味しいケーキをごちそうしていただきました。

皆、まだ疲れていなかったもので、先生のご案内で若草山のふもとから東大寺まで散歩に行きました。夕方になると奈良の気温は下がり、私達は散歩に出かける前は寒く感じました。しかし、私達は腕をくんで歩くと寒さを忘れ、自然の音を味わい、楽しく話しながらゆっくり歩きました。そして、ホテルへ満足して戻りました。それから自分の部屋に入って、休みました。明日で私達の旅行は終わります。最後まで何事もなく、楽しい旅行であるよう願っています。

串 間 ジルダ

10月24日 木曜日 晴

いよいよ、今日は関西(京都・奈良)研修旅行の最後の日となり、皆昨日の散歩で疲れても朝早く起き、そして7時においしい朝食をいただきました。さわやかな風の中を瀬山先生に案内していただき、8時に奈良観光を始めました。

- 東大寺大仏殿
- 二月堂, 三月堂
- 戒壇院
- 興福寺
- 奈良国立博物館

11時30分に昼食をとってから、奈良駅に向かいました。午後1時に奈良駅を出発し京都へ1時30分

に着き、それから皆買物をして3時30分に「ひかり号」で新横浜まで戻って先生と別れました。

瀬山先生最後までお世話になりました本当にありがとうございました。この楽しい旅は一生忘れられません！

池田 グロリア

10月26日 土曜日 晴

今日は、朝から強い風が吹いていたが、後ほど風も止み、暑い日となった。10人揃ってセンターを7時15分に出発した。

9:00 1時限目 表現教育 方先生

授業の内容 フォーマル エジュケーション/インフォーマル エジュケーション

先生は、教育のフォーマル エジュケーションやインフォーマル エジュケーションなどについて説明して下さいました。まず、フォーマルとは、先生が子供達にあたえなければいけない教育なので、先生は大事なのです。

インフォーマルでは、先生がガイドをしなければなりません。「ルートを紹介するのが、本当の先生です」とおっしゃいました。その次に、ビデオで「ことばのたね」という番組を見せて下さいました。それで、書きことば、話しことば、考えることば、感じることばの深い意味がわかってきました。

10:40 2時限目 文章表現 金平先生

10月21日、関西旅行へ行きましたので、いろんな事について先生と話し合いました。作文を書くつもりでしたが、11時20分には地震の訓練がありまして、聖山にのぼり、だじな説明をしていただいたので、ありがたく思いました。

今日の楽しい一日は早く過ぎたと感じました。

杉山 ノルマ クリスティーナ

10月28日 月曜日 曇り後晴

朝夕が日ごとに、寒く感じられるようになりました。

1時限目 国語教材 (長野先生)

この授業は、玉川大学3年生の生徒と一緒に受けました。かなり、専門的な単語を使っていたので、私には少し難しかったです。

2時限目 日本歴史 (瀬山先生)

○授業の内容は、先週の関西旅行で見学した事についてでした。

3時限目 幼児教育 (永井先生)

○ 教室がとても寒かったので、永井先生の研究室へ行きました。狭い所でしたけれども、10人が小さなストーブのそばによって、授業を受けました。

授業の内容は「人間の欲求」でした。

4時限目 音楽（小宮路先生）

歌だけではなく、紙で子猫を作り、お話もしました。とても楽しかったです。

井内 典子 スエリ

10月29日 火曜日 曇り

朝、目覚まし時計が鳴りますけれども、直ぐには起きません。暖かいお布団の中から出たら、部屋は寒いと言う事が知っているからです。ぎりぎりまでに、「この暖かいお布団の中に一日中いたいな…」と言うような事を考えながら起きます。そうして、寒い洗面所で、氷水で顔を洗いますと、パシッと目が覚めます。皆で、朝食を食べて、玉川大学に行きます。ホームで電車待っていますと、寒くて、寒くて、文句を言いますと、皆にこう言われます。「でも、カナダってこれよりも寒いでしょう」確かにそうなんです、日本とカナダの寒さは違うと思います。カナダでは、マイナス30度になっても、こんな寒い思いをしませんでした。

2時限目から、今日の授業が始まりました。体育でした。いい音楽を聞きながら、歩いたり、スキップをしたりしました。ラジオ体操の練習もしました。このラジオ体操のある動作はすごく簡単に見えましたが、実際にしてみると、結構難しいと言う事が分かりました。私は、大変苦労しました。ついていけなかったので、友達に笑われてしまいました。とても、楽しい授業でしたし、体がやっと暖まりました。

3時限目には、佐藤先生の美術の授業がありました。今日は、「絵を書く子供達」と言う映画を見ました。25年前に作った映画だそうです。子供の書いた絵を見て、これは子供の心の窓とは同じ、と言う事を分かりました。子供の使う色や書き方によって、分かるそうです。もう一つ大切だったのは、子供達に絵を書かせる時には、自由な雰囲気を作って上げると言う事でした。

4時限目には、片山先生の文法の授業でした。先生は、文法についての色々な詳しい説明をなさいました。先生の話し方がとても速くて、専門用語が多かったので、多少難しかったと思いました。

授業が終わって、センターに帰って来て、夕食を食べました。「どうせ、起きないのに…」と言いながら、目覚し時計を合わせました。

矢口 真理子

10月30日 木曜日 曇り

今日、前のスケジュールによると、書道の授業は、3時限目（Bグループ）と4時限目（Aグループ）に行われる予定でした。しかし、先生の御都合で、4時限目のAグループは1時限目に授業を受けることになりました。私はAグループですので、朝6時に起床致しました。朝食をして、7時に5人だけ出発致しました。相変わらず、風が冷たく、畳の部屋に正座をし、ぶるぶる震え、書道の授業

にはならないのではないかしらと一人で電車の中で考えていきました。

少し早く玉川学園に着きましたが、墨をするのに、丁度良いと思って畳の部屋へ参りました。道具を出して、墨をすり始め、すっていくにつれて、気持ちが落ち着き、寒さも感じなくなりました。10分たち、先生がいらっしゃいました。

今日、先生は書道の用具について講義をなさいました。筆、墨、硯、紙、水は完全に生きたものでないと生きた字が書かれないということが何よりも大切なのだとおっしゃいました。先生は一つ一つの道具についてもっと詳しく説明して下さいました。

筆→動物の毛で、ほとんどが出来ている。

小、中、大の太さがあります。長さもいろいろあります。墨の集合力のある毛、そして毛なみがそろっているというのが、良い筆の条件です。

墨→炭素で出来ている。

墨も行ききたものでなければいけないので作られてから、10年から50年の間に使われると一番良いようです。温度の高い所に置いておかないように、そして、ぬれたまましまわないように。

硯→海と陸という二つの部分に分けられている。

硯の鋒鉞は、針のようにになっている。石で作られたのが多い。

紙→湿気のある所には絶対保存しないこと。

紙も一年位ねかしておく理想です。

水→川、井戸の水が一番良いそうです。

この説明の後、書道の実習を致しました。筆の持ち方、正座の仕方、全部基礎から教わりました。先生はいつも優しく、一人一人に説明をしながら、授業を進めました。「十」と「王」の二文字を書いてみました。まだまだ練習をしなければいけないあと、つくづく思いました。

第3時限目は、長野先生の国語教材研究でした。最初に音読と朗読の違いを説明して下さいました。

音読→はっきり、間違えないように読むこと。

朗読→気持ちをこめて読むこと。

その二つを出来るためには、まず、五十音順をしっかり知っていなければなりません。それと知っていれば何でも発音できるようになる。一つ一つの拍を正確に、出せるようにして、はっきりした発音で読むこと。

その後、みんなで、光村教科書、4年上の本の載っている「ごんぎつね」という新美南古のお話を読みました。最後の部分、先生が読んで下さいました。とっても残酷なお話でしたので、みんなの顔は悲しい表情を見せていました。次の授業まで、「ごんぎつね」についての感想文を皆書くことになりました。

長野先生の授業の後、Bグループは書道の授業を受けに行き、後の半分はセンターに戻りました。

上田 恵美

11月6日 水曜日 雨

今日は、朝から空がどんより曇って、しとしと雨が降っていました。私達は、いつものように朝の6時に起床し、6時半に朝食をいただきました。そして、7時15分に移住センターを出かけました。玉川学園に8時45分頃着きました。9時から長野先生の授業が始まりました。

1時限目 国語教材研究 (文Ⅱ) 長野先生

先週、読んだ「ごんぎつね」と言う物語の感想文を各自書いて来ました。その感想文を一人ずつ読みました。そして、長野先生に色々とおアドバイスしていただきました。

長野先生は次のようなことをおっしゃいました。

—子供に物語の感想文を書かせる場合、先生側の考え方や意見をおしつけるのではなく、子供の個人差を認め、子供の意見をもっと大切にしなければならない。

—子供の立場で作品を考えて行くこと。

—物語をいつも教訓などと結び付けないように。

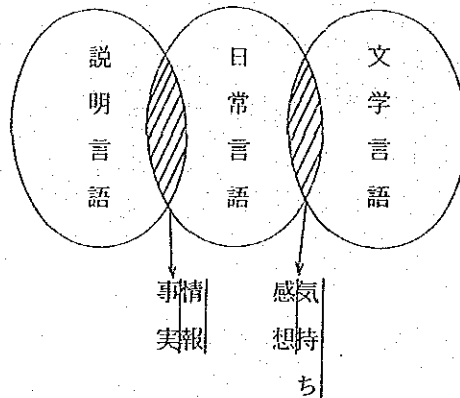
その後、文末(文体)について少し説明なさいました。

—文末を敬体(です/ます)と常体(である/だ)に分けることができる。

—レポートや論文は常体で書くこと。

文末の問題に引続いて言語について少し説明なさいました。

次の図を使って説明なさいました。



授業の後半は「ごんぎつね」の文章の書き表わし方について色々勉強しました。

—作者が選んで使った言葉によって、どのように文章が変わってくるか。(言葉に敏感になってゆくこと)

—行間を読みとる。(書かれていないことを読みとるか、場面や情景を推測すること。)

—文章の表現に即して内容を読みとること。

2時限目 文章表現 (文Ⅱ) 金平先生

日本の古都（京都と奈良）旅行について書いた作文のお清書をしました。

3時限目 書道（Aグループ）石川先生

筆のはこび方を習いました。先生のお手本を見ながら、右はらいや左はらいの練習をしました。石川先生は私達の手をとって筆のはこび方を教えて下さいました。

Aグループの書道は、2時半に終わりました。2時40分からBグループの書道が始まりました。

書道の授業を終え、6時頃に横浜移住センターに着きました。6時半に夕食をいただきました。7時から私は開発青年の方々と語学研修旅行のレクリエーションについて色々と、話し合いました。

今日は、一日中空が曇っていました。でも、私達の心は一日中晴れていました…

宗 仁子 マルガレッテ

11月7日 木曜日 雨

2時限目は美術でした。授業は芸Ⅲ造形室で行われていますが、そこには大学生のいろんな作品が飾られています。色染めたボール紙を立てにはって、児童文学テーマのはり絵はとても、すてきでした。

今日は、絵書きの基礎を習いました。例えば、赤ちゃんを描く時、頭は大きく、手、足は小さく、そして、年寄りには口と鼻の間を長く、背筋は曲がっている事など、人間を書く時の注意を学びました。イラストをすらすら書ける一般的な若い日本人が、うらやましく思っていました。この授業で、だいたい、絵の書き方を理解しました。今後は、基礎を守りながら、少しずつ練習する事です。授業中、ちょっとした絵を書かなければならない時、非常に便利だと思います。

4時限目の海外日本語研究では、感情と言葉について、いろいろと考えさせられました。世界の言葉は、なぜ一つでないか。髪や目の色は違ったとしても、道具としては、皆、だいたい、共通した物を持っている。国が違ったら、言葉も違おうとすぐ思い込むけれども、そう言う問題ではない。反応のしかたが別だと言う事だけです。子供の感覚をよく知らなければいけない。子供にとって、音はどんな感じで出されているのか。どんなふうに、ひびいているのか、うれしいのか、悲しいのか、痛いのかをよく聞きわける事が必要です。

感覚の中では、視覚、耳聴、手足皮膚がある。“人間の目はレンズとは同じ働きをするのでは無い”と言われました。“あばたもえくぼ”のように、みにくい物も美しく見えると言う事が人間の感覚です。又、人間は勝手に、聞いていても聞いていないふりをする時がよくある。他の事に夢中になっている時も、耳にはなにも入らないのも同じです。江戸時代の迷言の中で“嘘は誠の骨、誠は嘘の皮”と言うのがあります。それは、嘘と、誠の関係をよく表わしていると思いました。嘘が無かったら、誠が成立しない。なぜなら、嘘は誠のかっこを作ってくれているから。では、本当の真実とは、どこにあるのか。先生のいけんでは、言葉を便りにしてはいけないと言う事です。例えば、今、あなたが考えている事は他の人は、誰も知らない。ですから、同情と言う言葉は、本来無いのである。愛する

事も同じです。言葉は便りにしてはいけないが、相手の言う言葉なら信じてよいと思い、愛を語る事が出来ます。

先生は、そういう言葉と感情について、説明し、同時に、びびり、質問をしたり、私達に日本語をもっと深く考えさせるようにしました。

ふり返って見れば、その上原先生とは、始めの一学期には、よく外国人の私達に皮肉を言ったり、もうすごくいやな人、いやな授業だと思っていたけど、今は、なんて考え方の深くて広い先生だろうと、尊敬し始めました。とても、ためになっている授業だと思い始めました。

粉川 イザウラ 幸枝

11月8日 金曜日 晴

昨日の冷たい雨が上がり、今日は、とても良い天気でした。私達は、朝8時45分にセンターを出ました。玉川大学では、1時限目に千葉先生の音楽の授業が行われました。今日は、色々な歌遊びを覚えました。いつものように千葉先生は張りきっていて、とても楽しい授業でした。

2時限目は、片山先生の文法の授業が行われました。今日は、「副詞と連体詞」について、色々な説明がありました。授業が終わってから、センターに戻ってきました。7時から、開発青年の友達にポルトガル語を9時まで教えました。

菅野 テレーザ 百合子

11月11日 月曜日 晴

今日は、朝から太陽が照って、とても気持ちの良い一日でした。でも、どこを見ても紅や黄に染まった木の葉がヒラヒラと枝から落ち、たんだんと寂しい風景になって来るのが目にはっきり見えて来ました。

秋は、ホームシックの時期だと言われますが、私達のグループの幾人か、それを見せまいと耐えている顔が見えます。それでも、皆いつものように7時15分にセンターを出て玉川へ向かいました。月曜日は並通なら1時限から4時限までいっぱいですが、今日は小宮路先生の音楽が林講でした。

1時限目は、日本の学生と共に長野先生の講義を受けました。今日は、私達10人が小学4年生の子供にされ、ある生徒が模擬の授業をやりました。「ごんぎつね」の最後の部分先生がどうやって指導するかでした。これも新しい経験になりましたけれど、ちょっと迷ったのは、私達は日本の小学4年生の力、程度が分らなかったことでした。

2時限目は、瀬山先生の日本史でした。今日は、日本の年中行事についてお話し下さいました。一応、11月の行事について、それから小倉百人一首について説明して下さいたり、いくつかの和歌を取り上げて説明して下さいました。最後に皆で、それぞれ自分の前にいくつかのカルタを並べ、カルタ取りをしました。

3時限目は永井先生の幼児教育、先週から私達は先生の研究室で講義を受ける事になりました。皆で、コーヒーをいただきながら、ゆったりと講義を受けるのです。今日、先生は日本の児童教育の問題点について講義を進められました。

これが終わってから、上田さんと、井内さんはコーラスの練習に玉川に残り、後の人達はセンターへ戻りました。皆の寂しさも、木の葉と一緒に風に飛ばされてしまうよう願っております。

11月12日 火曜日 晴

今日は、風がとても強く吹いていました。私達は2時限目の授業に間にあうようにセンターを8時45分に出ました。皆、元気がない顔をしていました。それはクリスチーナの身体検査の結果が発表される日だからでした。何もないように願いながら大学へ行きました。ルシアがクリスチーナと一緒に病院まで行きました。

大学では、体育の授業を受けました。安らぎの一時のリズムに合わせて、体操をしました。次のように体を動かしました。

- ① 足踏みと両足飛び
- ② 腕の回旋
- ③ 胸の運動
- ④ 体の横曲げ
- ⑤ 腕の回旋と体の捻転
- ⑥ 体の前曲げと後そり
- ⑦ 体の前倒
- ⑧ 腕脚の運動
- ⑨ 股上げと体の側倒
- ⑩ 深呼吸

その後、ボールを使いながら体操もしました。昼食を終えてから、センターへ戻りました。センターに帰って、クリスチーナの身体には異常が無いということを聞いて皆とても喜びました。そして翌日の書道の講義のための練習を落ち着いてしました。

グループの中の一人が病気にでもなると私達は姉妹のように心配します。私達は今一家族のようにして生活しています。

串 間 ジルダ

11月13日 水曜日 晴

私達は、今日1時限目から授業があり、皆、朝早く起きて7時15分にはもうセンターから出発して

いました。今、日本は秋です。私は毎日「寒い寒い」と言いながら日本の寒さには、なかなか、慣れなくて少し心配です。でも、皆は力をつくしてくれるので、感謝しながら私は最後まで頑張っていきたいと思っております。

1時限目 国語教材研究 (長野先生)

五十音 (北原白秋)

水馬赤いな ㊦ ㊧ ㊨ ㊩ ㊪

うきもにこえびもおよいでる

柿の木、栗の木 ㊫ ㊬ ㊭ ㊮ ㊯

啄木鳥こつこつ 枯けやき

ことば遊び歌 (谷川俊太郎)

は な の の の は な

は な の な な あ に

な ず な な の は な

な も な い の ば な

2時限目 文章表現 (金平先生)

説得力のある文章

具体的な事

例：伯刺西爾

爾然丁

秘露

加奈陀

新聞の読み方

3時限目 4時限目 書道 (石川先生)

今日で、3日目だが、座る方はまだまだ足が慣れてくれない。でも、石川先生は一人一人に手を取って、教えて下さるので感謝の気持ちでいっぱいです。

今日の練習は「水光」でした。

池田 グロリア

11月14日 木曜日 晴

1時限目から授業があったので、7時15分にセンターを出発しました。

1時限目 音楽 千葉先生

子供達に歌う喜びを教える事について、いろんな説明をして下さいました。その後、一人一人、順番に遊びゲームの指導を試みました。

○ 2時限目 美術 佐藤先生

栗とはりがねを使って、ヤジロベを作ってみました。その次、ボール紙といろんなくずものを組み立てて、風で動く車を作りました。

○ 3時限目 海外日本語教育 上原先生

生理現象についての授業でした。みんな先生と話し合っ、オーラルレポートがあり、一人一人自分の意見を述べました。

言葉を感じる練習はとってもおもしろい事だと思いました。今日は、朝から強い風が吹いていましたが、後ほど風も止み、暑い一日でした。10人揃ってセンターへ18時に帰りました。

杉山 ノルマ クリスティーナ

11月15日 金曜日 晴

今日は、玉川大学の「第9」演奏会がありました。本年度の指揮者は、音楽界の大御所、山田一雄先生でした。独唱陣は、大学芸術学科の先生方、合唱団は、芸術学科生中心とした学生、そしてオーケストラは、玉川学管弦楽団で演奏しました。

約30年ぶりに、山田先生の指揮で玉川大学独自の「第9演奏会」が開催されました。

今回の演奏には、指揮者、オーケストラ、ソリスト達と、合唱の生徒達が夫々の価値観を大切に、必死に演奏しました。とても感動的でした。

これからも、玉川っ子らしい、熱意と気品を感じる演奏を続けてほしいです。

井内 典子 スェリ

11月18日 月曜日 晴

今日は、授業2つしかありませんでした。1時限目には、長野先生の国語教材研究がありました。この月曜日の授業は玉川の大学生と一緒に受けています。今までは、「ごんぎつね」と言う文学的作品的指導方法を研究していました。今日からは、「けむりのゆくえ」と言う説明文を研究し始めました。この作品の内容は、一目触れると、大変科学的でした。しかし、どういふうに、こういう科学的な説明文を国語の時間で指導すればいいのか、先生が私達に考えさせました。

2時限目には、瀬山先生の日本史の授業がありました。

先生は、十六世紀の日本について、お話をさいました。今日の授業はこれで終わりでした。

午後の4時半から、新宿文化センターで、第5回の玉川学園高等部音楽祭を聞きに行きました。約2時間半のプログラムでした。ハンドベルの演奏から入りました。それから、高等部の学生達が学年に分かれ、それぞれの合唱の発表がありました。高等部の先生方の合唱もあり、素晴らしいオーケストラやジャズ・バンドの演奏もありました。音楽にある色々な面がこの2時間の間に現われたので、とても良かったと思いました。高等部の学生は大勢いたので、びっくりしました。これほどの人数で

大変立派な演奏会を纏めた事に、私は感動しました。

新宿から皆で、電車に乗り、横浜のセンターに帰りました。多少疲れましたので、今晩は、ぐっすりと寝られるでしょう。

矢口 眞理子

11月19日 月曜日 晴

昨日、玉川学園、高等部の音楽祭が東京の新宿文化センターで行われ、私達も拝見させていただきました。さすがは、玉川の生徒達、先生方が実現させた美しい、感動的な音楽祭でした。

今日、二日続けて東京に出ました。今日は大好きな歌舞伎を見に行くためでした。午前中、玉川大学で、2時限目、体育の授業がありました。三橋先生は、とってもやさしい、また熱心な方で、授業中一生懸命いろんな体操、動作を教えてくださいました。今日は、先週教わった体操「安らぎの一時」を何回も復習しました。その他、ボールを使って、いろんな動作をしました。ボールを上、に、投げたり、弾ませたり、転がしたりしました。体が、なかなか堅くてうまく、自由に動作が出来なく、ちょっとつらかったです。しかし、一つでも多く、体操を覚えて、国に帰りたいと思います。12時頃授業が終わり、それぞれバラバラになって、お食事などをしました。

午後4時半に、国立劇場の前に集まり、入場券をいただき、席につきました。「鬼一法眼三略巻」という歌舞伎公演でした。相変わらず、おっしゃっている言葉は、なかなか理解することが難しかったです。しかし、何よりも印象的でしたのは、美しい菊畑の舞台、衣装などでした。お話がはっきり理解することが出来なくても、何となく意味、気持ち等が伝わり、十分に楽しめることが出来ました。歌舞伎は本当に何度見ても飽きることはありません。本当に日本独特な美しい芸能であり、国に帰る前に、もう何回か見る機会を得たいと思います。午後8時半頃終わり、皆一緒にセンターに帰りました。

上田 恵美

11月20日 水曜日 曇

今日は、午前中、授業が無いので、私達は朝7時頃起床しました。朝食をいただいてから、それぞれ自由行動をとりました。習字のAグループの人達は11半頃に昼食を終えてから、玉川大学へ行きました。そして、一時から書道の授業が始まりました。

「3時限目」 書道 石橋先生

皆で、10分間ぐらい墨をすりました。その間、先生は私達が宿題として書いて来た字を見て批評なさいました。その後、私達は「沐風」という字の書き方を教わって、練習致しました。石橋先生は私達の手をとって筆のはこび方を教えてくださいました。

静かな所で字を一字一字丁寧に書くことによって、私達は少しでも心を落ち着かせることができました。私達は日本文化の美を書道等を通して、だんだん味わうことができるようになりました。

2時40分頃に書道の授業が終わりました。私達（Aグループの者）は、電車に乗って根岸のセンターまで帰って参りました。Bグループの人達の授業は2時50分頃から始まりました。

宗 仁子 マルガレッテ

11月21日 木曜日 曇り

2時限目 美術

秋といえば、落ち葉の季節でもある。紅葉、銀杏などの落ち葉を拾いながら、美術室へ向かった。そこで、いくつかの葉を画用紙の上に置き、小さなふるいを使いながら、その上に水彩絵の具をのせて、歯ブラシでこすった。葉をとって見ると、白く、くっきりとした葉の形の回りに、水彩絵の具の色が、きれいに残っていた。

次に、どんぐりの実を使い弥次郎兵衛（変な名前！）を作った。こうして、自然物を用いながら、おもしろく、簡単な工作ができた。現地に帰ったら、そういう工作を作ろうと思う。

4時限目 海外日本語研究

残念ながら、上原先生は、風邪のため、授業を行なわなかった。先生、おだいじに。

粉川 イザウラ 幸枝

11月22日 金曜日 晴

今日、収穫祭があったため休講でした。ゆっくりと休んで、午後から収穫祭を見に行きました。収穫祭は玉川学園の農学部でやっていました。

ブラジルの大学では、収穫祭というお祭りはありませんですから楽しみにしていました。玉川学園で収穫した野菜や植物などの売店と展覧会がありました。農学部の前で生徒達が太鼓の音に合わせて、もちをついて、皆に配っていました。私達は昼食後でおもちは食べませんでした。寒い気候なので、熱いおもちを食べている人達を見て、とても「おいしそうだなあ」と思いました。

私達は、自炊をしていないので、野菜は買いませんでした。けれどもきれいな花を買って帰りました。

串 間 ジルダ

11月25日 月曜日 晴

今日は、センターを7時15分に出発しました。昨日は、雨でしたけれど、今日はとてもいい天気です。気持ちのいい一日でした。ただ、風が一段と冷たくなりました。

1時限目 国語教材研究 長野先生

授業の内容

子供達に与える文学の教材研究

2時限目 日本史 瀬山先生

授業の内容 17世紀の日本

- ・ 江戸幕府の成立
- ・ 幕藩体制
- ・ 江戸初期の文化
- ・ 禁教と鎖国

3時限目 幼児教育 長井先生

授業の内容 養育 子供の性格形成

4時限目 音楽 小宮路先生

今日は、色々な音楽を教わりました。その他、一つのおもしろい紙芝居も教わりました。

授業が終わってから、センターに戻りました。夕食をいただいてから、19時から、また全員集まって国語教材研究の歌遊びの練習を21時までしました。今日は、とても忙しい一日でした。

菅野 百合子

11月26日 火曜日 晴

今日も又、真青な空の下を10人揃って玉川の丘へ向かいました。

今日は、2時限目と3時限目しかありませんでした。2時限目は体育でした。音楽を通して準備運動から始め、ボールでリズム運動をし、最後に「安らぎのひととき」のリズム運動をしました。10人いると、中には体の柔らかい人もいるし、運動神経が発達した人もいれば、運動神経が鈍い人もいますが、皆とても楽しそうにやっていました。音楽やボールなどを利用して体を動かしているのですが、その時はそんなに疲れは感じませんでしたけれども何時間か経つと、体のあちこちが痛くなって来ました。

3時限目は片山先生の「文法」でした。今日は、動詞の活用について先生は説明して下さいました。それから、皆それぞれ別行動で、センターに戻った人もいましたし、買物に行った人もいました。

暖房がきいている教室や電車を出た時は、とても寒く感じました。これからはもっともっと寒くなるでしょうから皆風邪をひかぬよう気を付けて頑張りましょう。

玉田 ルシア めぐみ

11月27日 水曜日 曇

1時限目 国語教材研究 長野先生

私達は、12月9日に大学生の前でことば遊び歌の発表をしなければならないので、皆センターで一生涯懸命に練習をして、今日先生に見ていただきました。

かっぱ

かっぱかっぱはらった

かっぱはらっぱかっぱかった

とってちってた

かっぱなっぱかった

かっぱなっぱいっぱかった

かってきってくった。

2時限目 文章表現 金平先生

文章表現について説明なさいました。

悪文と明快な文章

主題について

構想・材料

文章の構成

3,4時限目 書道 石川先生

先生は、本を見せながら、書道について色々説明なさいました。書道の中には、3つの書方がある
①楷書②行書③草書。その後、それぞれ選んだ字や言葉を書きました。私は愛と平和にしました。

池田 グロリア

11月28日 木曜日 雨

久しぶりに朝から雨でした。朝はそれほど寒いと感じなかったが、だんだん冷えてきました。玉川の丘の木は雨と風に吹かれ木の葉は、はらはらと落ちていました。

2時限目から授業になっていたので、8時45分にセンターを出発しました。

○ 2時限目 美術 佐藤先生

先生は、「かみねんど」の使い方を教えて下さいましたので、いろんな形の物が出きあがりました。ある人は、猫を作ったし、ある人は人形を作ってみました。その後、日本についての印象を絵に書きました。ハブラシと絵具を使っておもしろい絵を書く事が出きましたので、大変楽しかったです。

○ 4時限目 海外日本語教育 上原先生

生理現象についての授業でした。11月14日の続きであり、言葉を感じる訓練は、とってもおもしろかったです。大事な説明を先生からしていただいたので、ありがたく思いました。今日はとても忙しい一日でありました。

杉山 ノルマ クリスティーナ

11月30日 土曜日 曇

今日から、2泊3日で、箱根伊豆旅行へ出掛けました。この旅行は、私達がポルトガル語とスペイン語の会話を開発青年に教えたお礼の形でJICAからいただきました。会話の授業は、8回にかけて行なわれました。皆の貴重な時間を割いたので、この旅行は、楽しみにしていました。

8時45分に、貸切りバスがセンターに着き、9時には、出発しました。一緒に行ったのは、事業団の職員2名と開発青年28名と、日語教師の10名で合計40名でした。バスの中では、皆疲れない程度にお話をしたりカラオケで歌ったりしました。

11時に御殿場でおいしい昼食をいただき、その後、富士サファリーパークへ向いました。サファリーパークでは、バスの中から野生の動物をたくさん見ました。最初は、クマのゾーナでした。小さな池のそばを大きな茶色のクマがのそのそあるいてとてもかわいかったです。

次に、毛のふさふさしたライオンやお昼寝ばかりしていたトラも見ました。生まれて4ヶ月ぐらいのトラの赤ちゃんはお母さんトラと楽しそうに散歩していました。その外、象、ラクダ、ダチョウ、バンビー、サイ、シカなども見ました。どの動物も野生とは思えないほど、おとなしうでした。

サファリーパークから、30分ぐらい行った所に御胎内がありました。御胎内は、富士山が噴火した時に出来た洞窟だそうです。洞窟の入り口は、人の背丈ぐらいあって奥の方は、狭くて、薄暗くて、じめじめしていて、あまり気持ちの良い所ではなかったです。

4時頃に、湖月館へ向いました。湖月館に行く途中にふっと外を見ました。外はもうすでに日が暮れて、真赤な夕焼と富士山が絵の様に美しく見えました。

5時頃には、湖月館に着き、5、6人のグループに分かれ、それぞれの部屋に行き、少し休みました。

夜は、豪華な食事をいただき、開発青年のユーモアたっぷりの劇も見せてもらいました。2ヶ月の短い期間に外国語を感情をこめて話せるようになった開発青年を見て、感心しました。やはり、何か目的をもって勉強すると、上達が早いのだと思います。

最後に、ブラジルのサンバを全員で楽しく踊りました。食事は、皆それぞれ自由行動をとりました。今日は、富士山を近くで見ることが出来たので、もう最高でした。明日も良い日でありますように心から祈っています。

井内 典子 スエリ

12月1日 月曜日 晴

今朝、6時半頃に起床しました。ホテルでは5人部屋でした。私達女性5人、顔を洗ったり、歯を磨いたりして、朝食に下りました。食堂のそばには、窓があり、そこから富士山が見えました。見た瞬間その窓が丁度額ぶちとなって富士山の素晴らしい姿を写しているような感じがしました。9時にホテルから出発しました。バスで、富士山の反対側に向かいました。バスの中で、皆で歌い、ガイド

さんの色々な説明を聞きながら、景色を見たりしていました。10時20分に白糸の滝と言う所に着きました。素晴らしいお天気でした。滝のそばの2箇所に、虹がかかっていました。滝の下に小さな川があり、この川の中には、大きな石が沢山あったので、皆で石から石へ飛びながら、子供に戻ったように楽しく遊びました。11時頃、白糸の滝から出発し、沼津に向かいました。沼津に着いたのは、11時50分だったので12時40分まで、そこで昼食をしました。13時30分から、約1時間半ぐらい、三津にシーパラダイスで過ごしました。海の色々な動物や魚を見、イルカのショーも見て来ました。その後、大に洋らんパークに行きました。そこの温室を散歩してから、修善寺ホテルに向かいました。皆で夕食を食べながら、カラオケやブラジルの歌を歌いました。最後に全員で肩を組んでウィ・アー・ザ・ワールドを歌いました。最高の気分で今日の一日が終わりにになりました。

矢口 真理子

12月2日 月曜日 曇

2泊3日の旅行の最後の夜、遅くまでお話をしたり、踊ったりした私のような人には、朝7時に起きるのがちょっと辛かったが、スケジュール通り、7時に起床し、8時にみんな集まり、朝食をしました。

思い出を一杯つくった修善寺ホテル、気持ちの良い温泉のある修善寺ホテルから出発したのは午前9時でした。バスの中は相変わらずにぎやかでした。1時間ほどカーブのたくさんある道を行った所で15分間休憩しました。高い景色の良い所でしたが、風が実に強く、吹きとばされそうでした。

10時半頃、箱根関所に着きました。丁度芦ノ湖の前でした。紅葉したもみじの葉、キラキラ輝く湖が印象的でした。箱根の関所は元和5年(1619年)、全国の大名達の謀叛を防ぐのを第1の目的として建てられました。その次、箱根関所に関する諸資料を展示している資料館を見学しました。12時頃昼食をしました。自分達でその場で揚げて暖かいうちに食べる天ぷら、とってもおいしかったです。

最後の見学となり、大涌谷へ行きました。ぶくぶく沸き出るお湯、何か力強いものを感じました。自然は本当に言葉で説明できないほど、不思議なものだとつくづく思いました。

センターに向かってバスが走り出しました。新しい友達、一杯の思い出、心がまた一つ豊かになったような気がします。富士山を心に最後の4ヶ月間を精一杯頑張ります。良い旅行、心から感謝します。

12月3日 火曜日 晴

今日は、午前7時頃に皆、起床しました。前日、箱根旅行から帰って来たばかりだったので皆だいが疲れているようでした。

2時限目の三橋先生の授業に間に合うよう用意をしてセンターを出ました。

2時限目 体操 三橋先生

流れる音楽のリズムに合わせて最初、ステップを踏みました。それから少しずつ体を動かしながらボールを取ってリズムカルな運動を始めました。音楽のリズムに合わせてボールを転がしたり、弾ませたり、蹴ったりするのは容易ではありません。でも、皆必死で頑張っていました。

ボール運動を終えると、今度は「安らぎのひとつき」と言う曲に合わせて体をしなやかに動かしました。初めの頃に比べると、皆とっても上手になりました。「安らぎのひとつき」の曲と共に授業は終わりました。

3時限目 文法 片山先生

最初、片山先生は可能動詞について、色々と例をあげながら、説明して下さいました。その後、5段活用の動詞について少し勉強しました。

私達、2世、3世がよく間違える（れる・られる）の正しい使い方についても少し説明して下さいました。

日本の文法は、勉強すればするほど、もっともっと難しくなっていくようです。これからも頑張って文法の勉強をしたいと思っています。

片山先生の授業を終えて、私達は5時頃にセンターに着きました。午後6時頃に夕食をいただいて、7時半から、長野先生の宿題である「早口言葉」の練習をしました。前日の疲れもあるので今日は皆早めに休みました。

宗 仁子 マルガレッテ

12月4日 水曜日 晴

1時限目 国語教材研究 長野先生

来週は、教育学科の学生達の前で、谷川俊太郎の「言葉遊び歌」を発表します。ですから、今日も練習をしました。手拍子をしたり、息を力いっぱい吸ったり、隣の顔をちらっと見たりして、何とか皆一声に声を揃えるようにしています。又は、一人が笑ったら、全員が笑い崩れる事もよくありました。うまくできた時は「やった！」とうれしくてたまりません。さあ、どんな発表会になるか、先生も期待しています。

2時限目 文章表現 金平先生

文の冒頭と結尾の型について説明を受けた後、和歌の勉強をしました。与謝野晶子や北原白秋の短歌などを読みました。若山牧水の「白鳥は かなしからずや 空の青 海の青にも 染まずただよふ」がとても気に入りました。和歌をとおして、日本人の美的意識を感じられました。

3/4時限目 書道 石川先生

Aグループが始めに授業を受けました。先生は、書道の月刊誌を見せてくれました。楷書、行書と草書で書いた作品を見ながら、皆、それぞれの美しさを感じさせられました。その後、自分の選んだ

字の習字をしました。

粉川 イザウラ 幸枝

12月5日 木曜日 晴

1時限目 音楽 千葉先生

今日は、音楽の時間に反省会が行われました。6月から12月までの音楽の授業について色々とお話し合いました。その後、私達はブラジルの童話を歌いました。

2時限目 美術 佐藤先生

今日の授業では、刷り込み染でクリスマスカードなどを作りました。

4時限目 海外日本 上原先生

内容 副詞 感覚語

この授業を受けて、重要なことを教わりました。それは、「日本語ということばは、考えることばではなく、感じることば」と例えば、「にぎやか」、「やすらか」、「しなやか」という副詞は、ことばの意味を捜すのではなく、ことばを感じるのだと先生はおっしゃいました。そして、知的な日本語教育をするならば、やめた方がいいとおっしゃいました。なぜなら、上原先生は、「ことばは感情」という基本的な考え方で日本語教育をしていますから、その考え方を私達に伝えようと思いました。私も、その考え方も大切ではないかと思えます。できれば、そういう形で日本語教育をしてみたいと思っています。

菅野 百合子

12月6日 金曜日 晴

日に日に寒さも増して来ました。木の葉も散ってしまい、あたりの景色を見ただけで寒さを感じられるようです。

水曜日から風邪をひいて寝込んでいた宗さんも今日はもう顔色も良く、元気良く起きて来ました。

今日は玉川の講義はお休みで、私達は午後から国際学友会に授業参観に行きました。

午前9時から、私達は9人で来週の月曜日に発表する「早口言葉」の練習をしました。誰も見えないセンターで練習すると皆ずいぶん上手に出来るようになりました。

矢口さんは昨日茶道のお稽古だったので、おじいさんの家から直接国際学友会に行きました。上田さんは「早口言葉」の練習のすぐ後、私達より先に出かけ、国際学友会で会う事にしました。

後の8人は、午後10時に皆そろってセンターを出ました。大久保駅に着いてから皆で昼食をし、それから国際学友会に行きました。

そこでは、森田先生に迎えられ、3人3人4人のグループに分かれ、午後1時10分から午後3時まで各グループ2クラスずつ参観させていただきました。年末であるため、先生方は試験などで忙しく、

私達は参観後帰りました。

途中までは皆一緒に帰りましたが後はそれぞれあっちこっちに行きました。

もう後2週間で私達の本年の研修スケジュールも終わりです。皆、寒いでしょうけれどもう一息で今年も終わりだから頑張りましょう！

玉田 ルシア めぐみ

12月9日 月曜日 晴

今日は、1時限目から4時限目までであったので、皆早く起きて、朝食してから出掛けました。私達は何となく緊張していました。2週間前に日本語教材の先生から早口言葉のテキストをもらって、練習しました。それで、1時限目に発表することになっていました。教室に入る前にもう1回練習しました。これで大丈夫だと思いました。

講義は表現を中心として、進められました。私は時間が気になって、何回も時計を見ました。講義が終わるまでもう何分間かしかなかったの、私達は発表しなくてもいいのだと思っていたら呼ばれました。

緊張していた私達は前に行き、お辞儀をしたとたんに生徒達が笑い始めました。一番はじめの題を言う時から皆ばらばらだったので、どうしようもなかったのです。でも、そのまま続けて最後になってからやっと落ち着いて声がそろいました。何となくすっきりしましたが、ちょっと恥かしい気持ちで教室から出ました。

2時限目は日本史でした。先生は30分ぐらいで日本のお正月のことを話して下さいました。それから18～19世紀の日本、幕府体制の動揺から町人の台頭と経済の発達やペリー来航と開国まで説明して下さいました。

3時限目は幼児教育でした。先生の部屋で、コーヒーを飲みながら、幼児の頭の働きを説明していただきました。

4時限目は音楽でした。私達のリクエストを受けて、先生はピアノを弾いて下さり、皆で歌いました。その他、先生が書いた記事を読んでいただきました。

串 間 ジルダ

12月10日 火曜日 晴

3時限目 日本語を考える 片山先生

主語と述語の関係について説明なさいました。

あの／人達は／横浜から／町田の／学校に通って／います。

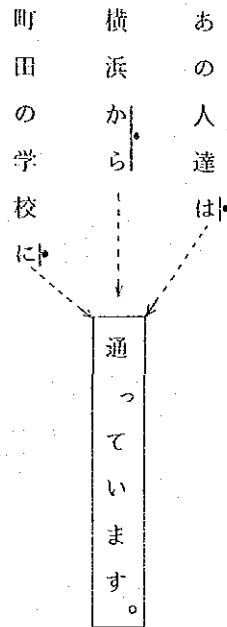
1 2 3 4 5 6

3-1-2-4-5-6-7

4-5-3-1-2-6-7

日本語では、この3つとも言い方も分かりますが、英語やスペイン語やポルトガル語には分かりません。

修飾、被修飾の関係は2つに分けることが出来ます。それは修飾されることばが体言であるか用言であるかによって決まります。



池田 グロリア

12月11日 水曜日 晴

変りなく、私達10人は、7時15分にセンターを出発し、玉川大学へ向かいました。

1時限目 国語教材 長野先生

今日は、特別で、私達はオーラルレポートがあり、コーヒーを飲みながら、来年勉強したい事やひとりひとりの意見を、先生と話し合いました。

2時限目 文章表現 金平先生

短歌と俳句を読みながら、先生が私達に色々と説明して下さいました。

3時限目 書道 石川先生

Bグループが初めに授業を受けました。書の鑑賞について説明して下さいました。書には印象的な見方と書方的な見方があることを説明して下さい、その一つ一つを細かく教えて下さいました。

印象的な見方は作品に対して、全体から受ける事であり、心の有方が正しければ、書も正しくなっ

てきます」と先生がおっしゃいました。

今日も良い一日でありました。

杉山 ノルマ クリスティーナ

12月12日 木曜日 晴

冷たい風を肌を感じながら、今日も玉川へ向かいました。今日で今年最後の授業だと思うと少し残念と安心との複雑な感じがしました。

2時限目 美術 佐藤先生

先週始めた刷り込み染の作品を今日、仕上げました。来年は虎年なので、虎の絵が多かったです。一人4枚の祝賀状を作り、1枚は、佐藤先生に差し上げました。

先生が作られた祝賀状もいただきました。私達は、なかなかきれいに出来なかったのですが、カードの染方を教えていただいたので、とても参考になりました。

4時限目 海外日本語教育 上原先生

年末になったので、今日の授業ではお正月の事をおそわりました。お正月と言えば、おせち料理、御雑煮、鏡餅、門松、注連縄、お年玉を思い出します。私達も幼い時から、日本人的なお正月を迎えたことがあるので、やはり、日本のお正月は楽しみです。

お正月の説明の後で、形容詞も少し覚えました。最後の授業は、とても良かったです。又、来年もよろしく願いたします。

12月16日 月曜日 晴

ワープロの研修

今日も全員朝の7時頃に起床してから朝食をいただきました。その後、午後1時まで自由行動をとりました。

午後1時 ワープロの研修 井上インストラクター

今日は、午後からワープロの研修となってるので、午後1時に皆センターの第1講義室に集まりました。

午後1時30分頃に井上さんがいらっしゃいました。そして、マイリポート15（リコー）の使用方法について色々説明なさいました。

最初に電池の取り変え方やテープの入れ方を教えて下さいました。それから、マイリポートのディスプレイについて説明なさいました。

午後3時15分に15分間の休憩となりました。そして、3時半から又、研修が始まりました。私達は、二人ずつ並び、一台のワープロを前にし、ある文を打ってみました。すると色々な疑問や問題ができました。井上さんは私達の疑問等を一つずつ解決して行かれました。

皆で必死でワープロを打っているうちに午後5時になってしまいました。そして、ワープロの研修が終わりました。井上さんは最後の説明を教えてから私達一人一人の意見を聞かれました。皆それぞれ色々な意見を出しました。でも、とっても役に立つ物だ！ぜひ自分の国に持って帰りたい！という面では皆の意見が一致しておりました。

ワープロはほんとうに便利な物だと私は思いました。日本語学校等では、これから多に使用されるようになると思います。私もテキスト作りや試験問題作り等にどんどん使用してみたいと思っています。

たった一日の研修でしたが、色々な面で役に立ちました。今日、覚えた事をもとにして国に帰るまでに少しずつワープロの使用方法になれて行きたいと思っています。

宗 仁子 マルガレッタ

12月17日 火曜日 曇

今日、私達のグループの6名、つまり、宗さん、粉川さん、菅野さん、玉田さん、串間さんと私上田は午前中ジャパンインターナショナルスクール (JIS) を見学しました。後の4名は明日 (18日) 同じく見学をすることになっています。

センターを7時頃出発し、原宿の駅の近くにあるJISに9時頃着きました。日本語の授業の全責任者の白鳥先生が私達を歓迎し、手短かにどのクラスでどういう授業に参観するのかを説明して下さいました。

最初全員で日本舞踊の授業を見学しました。10才から12才ぐらいの生徒4人に先生がまず初めに、日本の代表的な“さくらさくら”を教えました。足や手や体の動きを先生は熱心に生徒達に教え、まだ日本語もよく分らない生徒達には、ちょっと大変だったみたいです。私達も一回踊ってみました。やはり、難しかったです。その後、もっと簡単な遊びのような踊りを教え、それは生徒達も喜んでやっていたような気がしました。時間が短いため少ししか見なかったが、JISが小さい時から生徒達に、日本の文化を少しでも伝えようとしていることは、とっても尊いものだと思います。

次の授業は、私達6名は、2グループに分れ、私と粉川さん宗さんは、白鳥先生の授業に参観することになりました。JISの中で3名優秀な生徒達の授業でした。まず初めに、漢字カードを並べ、時間を計って、そのカードを使ってできるだけ長い文、あるいは一つのお話を作る競争のようでした。うまく漢字を使って素晴らしい文をさっとつくる生徒達に感心しました。その次はある絵カードを生徒に見せ、その絵カードについて、短い会話を書くようにということでした。それにまた、びっくりしました。こういう授業が進み、教材を実にうまく使って生徒達の日本語の実力をあげようとする先生方の努力に本当に感激しました。

次の授業は日本語国語の授業でした。こちらの日本の学校と全く変わらない内容で授業が行われました。少し難しい内容でしたが、生徒達は積極的に参加し、とっても良い授業でした。

これで一応、午前中のJIS見学が終わりました。お昼はみんな一緒にマクドナルドでお食事をして、そこで、私達のグループの後4名に会いました。午後から全員、新宿日本語学校を見学しました。

午後2時、高田馬場駅の近くにある新宿日本語学校に着きました。学校はもうお休みに入っていたので、生徒は一人もいませんでした。小さいような学校、第1印象は本当を言えばあまり良くなかったです。2時半頃、やっと江副隆秀校長先生が私達を迎えて下さいました。一つの小さな教室に入りました。そこにはビデオが用意されていました。ビデオで学校が紹介されました。

この学校は外国人の大人に日本語を教える学校です。ビデオ、OHP、テープと自分達で作ったテキストを教材として授業をします。その教材を使って、江副校長先生は実際に授業を私達にやって見せて下さいました。私だけでなく、全員に校長先生の授業をじっと見ている、本当に言葉にならない素晴らしい授業でした。とってもいいテクニックで私にはとっても良い勉強になりました。みんなテキストや他の教材に関心を持ち、買ってきました。たったの2時間でしたが、実に心が豊かになったような気がしました。ブラジルに帰る前にせめてもう一度新宿日本語学校を見学したい気持ちで一杯です。

今日のJISと新宿日本語学校を見学して、どれだけ教材、そしてその使い方が大切か分かりました。本当に大変参考になりました。

上 田 恵 美

12月18日 水曜日 晴・曇

今日、ジャパン インターナショナルスクールでの見学がありました。小さい学校なので、私達10人一緒に見学することが出来ませんでした。昨日4人と今日4人のグループで行きました。半日の見学でしたので、内容は昨日と同じでした。私は、ジャパン インターナショナルスクールを見学するのは、今日で3回目でした。この学校に行くたびに、大変参考になります。

矢 口 眞理子

1月10日 金曜日 晴

文章表現 金平先生

子供の作文について、どのように指導するのか。“春を見つける”と“2年生になった”(光村)のテキストを使って、今日は、作文の指導の仕方、ねらいを学びました。その教材は、丁度子供達が2年生になったばかりで(春だし)、まだよく書けないから、ただ感じたり、見つけた事を書いています。例えば、

一東の空に、まっ白い雲がうかんでいます。冬の間の灰色の雲は、どこへ行ったのかなあ。
(まこと)

一草の上にねころんだら、草のおいがしたました。小さい虫が首のところにはってきたので、びっ

くりしました。(まさ子)

短い文で、自分の考え、又は思いを書く習慣をつけさせる。自分が気づいた、見つけた、感じた、自分で話をしているように書かせる。

作文ノートを使って、

—お話を読んで、いいなあと思ったところ、

—きょうのこと、

—友達の言葉

—楽しかった事、などをメモする。

粉川 イザウラ 幸枝

1月13日 月曜日 晴

きょうは、1時限目から4時限目までであったので、とても忙しい一日でした。

1時限目は長野先生の「国語教材研究」でした。この授業は教育学部の生徒達と一緒に受けました。「サラリーマン向き国語力総合テスト」を今日の教材として使いました。

2時限目は、日本史でした。瀬山先生は「江戸時代の女性と母系社会について話して下さいました。

3時限目は、長井先生の幼児教育でした。今日は、「青少年と家庭に関する国際比較調査報告書」のコメントをしました。それについて、私達はディスカッションをしました。これで、幼児教育は最後でした。

4時限目は、また長野先生の国語教材研究でした。でもこれは、私達の特別な授業でした。1時限目に使った教材をまた、詳しく勉強しました。それから、先生は「国語を教えるのには、どんな指導法が必要であるか」について話して下さいました。私にとって、すごく役に立ちました。

菅野 百合子

1月14日 火曜日 晴

1ヶ月も玉川に行っていなかったうち、寒さもぐんと厳しくなり、玉川の丘の景色も一段と寂しくなっていました。

今日は、3時限目片山先生の講義だけでしたので、行きは自由に行きました。今日の講義内容は「敬語」でした。あまり本は使わず、おもに“お”の使い方について色々話し合いをしました。

帰りもそれぞれ自由に帰りました。たった1駒の為に玉川まで行くのはもったいないような気がします。

玉田 ルシア めぐみ

1月17日 金曜日 晴

1 駒だけの講義でしたので、私達はゆっくりと大学へ行きました。体育でした。輪を使いながら色々な体操をしました。最後は歌のリズムに合わせて、その体操をしました。久しぶりの体操で、皆疲れたようでした。それから、皆それぞれどこかに行きました。

夕食を終え、皆で、ルシアさんのお誕生のお祝いをするように決めていました。実はルシアさんのお誕生日は3日でした。でも、皆旅行中で、今日になりました。彼女がわからないように、マガレッテさんは食堂まで連れて行きました。食堂では皆、ケーキと花束を準備して、待っていました。ルシアさんが食堂に入ると皆で、“PARABENS PRAVOCE”を歌いました。私達が日本にいる間ルシアさんのお誕生日が最後のお誕生日です。写真をとったり、ゆっくりとケーキを食べながら話しました。日本の研修も残り2ヶ月になりました。最後まで頑張りましょう。

申 間 ジルダ

1月20日 月曜日 曇

不思議なことに、もう日本に来てから8ヶ月も経ち、後2ヶ月で帰国しなければならないので、それぞれ帰る日を決め、本を船便で出したり、毎日大学の帰りにみやげ物を買ったりしておりますので大変です。

今日1時限目から授業がありましたけれども玉川の大学生は期末テストでしたから私達は出席しませんでした。

2時限目 日本史 瀬山先生

先生は、17世紀の幕末期の動乱と18世紀の明治時代について講義を進められました。

4時限目 国語教材研究 長野先生

長野先生は丁寧に授業の仕方の事についてお話しされました。子供の心と人間関係は大事であり、又先生の教え方によって生徒が身につけるとおっしゃいました。「教育愛」というのは先生の指導技術によって表現するものです。「理解は愛の別名」教師は自分の特徴や自信や個人差を持って、その影響を生徒にあたえるようになります。だから、教師は自分の個人差をはっきり知っていなければなりません。

池 田 グロリア

1月21日 火曜日 晴

変りなく私達10人、11時30分にセンターを出発し、玉川学園へ向かいました。

3時限目 日本語を考える 片山先生

授業内容 敬語とは何か

今後の敬語

授業のスピードが早かったので付いて行く事が出来ない時が多くありました。先生は敬語の使い方について色々、説明をして下さり、私達と話し合ってみたりしました。内容は難しかったけれど、なんとなく良い勉強になりました。だんだん寒くなりましたが、今日も元気よく頑張りました。今日は、特別な日のように、10分間雪が降りました。いつものように、18時にセンターへ帰りました。

杉山 ノルマ クリスティーナ

1月22日 水曜日 晴

今日は、3時限目の書道の授業しかありませんでした。私達Bグループは、矢口さん、菅野さん池田さん、杉山さんと私井内の5人でした。

皆、それぞれ時間に間に合うように自由に玉川へ向いました。

今年初めての授業なのです。けれども、昨年からの宿題の書きぞめがありました。テーマは、「希望と努力」でした。長い休みの間、皆一生懸命に練習しました。

やはり、練習をしたならそれなりに上手になりました。石川先生は、一つ一つの作品を手にとって批評なさいました。

次に、1年生から3年生ぐらいの子供に教えるお手本をいただきました。

1年生→「おとし玉」

2年生→「書きぞめ」

3年生→「明けの春」

平仮名は、直線と円い線の組み合わせで書いてあります。平仮名を書くのは初めてでしたので上手には書けなかったのです。でも何度も書いている間に、大分上手になりました。これからも「書道を続けていきたい」と思っています。

井内 典子 スエリ

1月23日 木曜日 晴

今日も、また一つの授業のために玉川大学は行きました。この授業は4時限目に行われました。上原先生の「海外日本語研究」と言う授業でした。今日私達は、新年に入って以来、上原先生にお目にかかるのは初めてでしたので暫くお正月の話をしました。上原先生は、日本でのお正月の由来や日本人にとっての深い意味についてお話をなさいました。今日も、上原先生から、いろんな大事な事を学びました。「現地で日本語を教える場合、子供達に単語を暗記させるのではなく、日本人の感覚を通じて、日本語を学んでいく方が良い。言葉を暗記させようとする、子供達は、きっとすぐに忘れてしまうでしょう。しかし、日本語に表されているその日本人の感覚を子供達に感じてもらえば、覚えた日本語はきっと忘れられない。一回、何かを感じたら、その感覚は暗記した言葉と違って、一生残るのではないかしら」と、上原先生がおっしゃいました。それで、上原先生が日本語のいろは順につ

いて講義をなさいました。私ども、いろはの順序はもともと、ある詩から来ていると言う事を知っていましたが、その順序は知りませんでした。しかし、仲間には、順序を部分的に知っている人がいたので、彼女達、互いに協力しながら、いろは順を板書することが出来ました。このいろは順の「い」の文字から、いろはガルタのお話に入りました。「いぬもあるけば、ぼうにあたる」の最初の「い」は、日本人、日本語にとっては、大変に大事な音であります。なぜならば、「いのち」「いのる」「いわう」などの大事な言葉に、この「い」が付いています。日本語で「い」で始まる言葉には、神秘的な言葉が多いそうです。いろは順の「い」から「た」まで、先生が説明をなさいました。こんなに日本語について深く考え、感じさせられたのは、初めてで、上原先生の「海外日本語研究」のおかげだと思います。

矢口 眞理子

1月24日 金曜日 曇

朝、ホームで電車を待っている時、冷たい風が吹いてきて、手袋もマフラーを使っても、寒さが凍みてきます。

今日の1時限目は、三橋先生の体育の授業でした。暖まるのに丁度良いと思っていましたが、広い体育場は冷たく、体が思うように最初は動きませんでした。今日は、去年覚えた「安らぎの一時」を一度音楽に合わせてやってみましたがやはり、順序を少し忘れていました。その後、先週と同じく輪を使って、体操を始めました。1週間前習った体操の復習をゆっくりして、最後に音楽に合わせて何回か練習しました。まだまだ、輪を自信を持って、使えるようになるまで、少し時間がかかるような気がします。

2時限目は、金平先生の文章表現の授業でした。前の授業に少し触れたテキスト「書くことを見つけた」についてお話しがありました。

生徒達に作文の指導をする時、普通、気付いていないことに気付かせ、新しい視点を与える。子供が感動し、その感動を言葉に言い表せるように作文を書き、書くことによって、また思想を整理していく。そして教師は「一人一人が書いた言葉がどういう感情から発生したのかを。」それを見抜く力を養わなければいけない。

最後に、前もって渡して下さった「こそあと言葉」のテキストについて少しお話し合いをしました。テキストについての感想を先生が一人一人に聞きました。私にとっては、ブラジルの生徒達に、指導案に書いてある通り、詳しくは教えることがちょっと難しいと思いました。しかし、このテキストを読んで、ある面では自分には参考になりました。

玉川大学での授業は今日これで終わりましたが、4時頃事業団の本部の谷田様と高田馬場駅で会うことになっていて、新宿日本語学校へ行くことになっていました。

3月の3日から8日の間、私達が望んでいた新宿日本語学校で研修を受けることになりました。そ

の期間私達が実際に何を勉強したいということについてのお話し合いをしに行きました。そこでは、杉山先生が私達を迎えて下さり、一人一人の希望を聞いて下さいました。私達が帰国する前の最後の研修になると思いますし、外国人に日本語を教える経験のある先生達ばかりですので、私はとっても張り切っています。日本語に対して今まで持っている問題点が全部解けるのではないかと期待していますし、楽しみにしています。

このお話し合いの後、みんなの希望、そして喜びの笑顔が目につきました。しかし、みんなとっても残念がっていたのは「どうしてもっと早くからこの新宿日本語学校で研修を受けなかったのか」ということです。本当に残念です。

これから来る研修生達に、新宿日本語学校での研修期間を伸ばすように事業団の方々にもお願いしておきたいと思います。現地にかえってすぐ、しかも大変役に立つ勉強が出来ると思います。

帰国する日が近づくにつれてドキドキしてきます。後、本当に一息だけですわね！

上 田 恵 美

1月27日 月曜日 晴

今日は、2時限目からの授業なので、皆ゆっくり朝食をいただいて、9時頃にセンターを出かけました。冬空がまっ青に晴れていたもので、今日は山手線の近くで、電車の中から富士山をかすかにみることができました。皆とっても感激しました。

2時限目 日本史 瀬山先生

瀬山先生は今日、近代国家の発展について色々とお話しをして下さいました。まず始めに明治時代の特徴等を色々とお話して下さいました。

- たとえば
- 東京が日本の都となった
 - 天皇が日本国の中心となった
 - 文明開化（外国の文明をどんどん取り入れた）
 - 自由主義の思想
 - 大日本帝国憲法（天皇絶対の憲法）
 - 清国との戦争
 - ロシアとの戦争

授業のしめくくりとして、瀬山先生は「日本がなぜ、こんな短い間に現在のような経済大国になったのか」ということについて少しお話しして下さいました。

日本が現在経済大国であるのは、日本人一人一人が日本の伝統を守って来たからである。

日本人には外国からの新しい文明と自分の国の伝統をうまく合わせる力がある。

このほか、日本人の考え方に深い影響をあたえている儒教の教え等について少しお話しして下さいました。

今日は、3時限目がフリーだったので、ゆっくり昼食をいただきました。

4時限目・国語教材 長野先生

長野先生は、「プログラム学習」（個別学習）についてお話し下さいました。実際に漢字のプログラム学習のサンプルを持って来て下さったので、それに基づいて授業をすすめてゆきました。

プログラム学習には次のような原理があります。

- ① 積極反応の原理
- ② 即時確認の原理
- ③ スモールステップの原理
- ④ 自己ペースの原理
- ⑤ 学習者検証の原理

上あげてある5つの原理を先生は詳しく説明して下さいました。

ブラジルのような複式授業の方が多く所では「プログラム学習」がすごく役立つと思います。今度現地へ戻ってぜひ使用してみたいと思っています。

宗 仁子 マルガレッタ

1月28日 火曜日 晴

授業は、3時限目から始まるので、11時20分に出ると、10分間に合いました。

片山先生は、先週の続き、敬語について色々とお話をしました。丁寧語、尊敬語、謙譲語のほかに、美化語がある。美化語とは、上品ぶって格好をつけた言葉で、響きのいい言葉で言おうとするものです。飯（めし）を御飯（ごはん）と言い、腹をおなかと言うようなものです。

又は、日常的な言い方を改まった言い方として使う時は、「今」をただ今、「きょう」を本日、「行く」を参ると言うのも、日本語の敬語の大体の体系であることを「ことば」シリーズ1-敬語（文化庁）の本を読みながら授業は進んで行きました。

4時限目は、書道でした。宿題として出された「希望と努力」の大きな書き初めを提出しました。字を強く、はっきりと見せるためには墨をたっぷりつける事。字、一つ一つ同じ大きさに書くため、スペースを正確に計る事。最後のはねる所や筆を置く所はあくまでも最後まで、力をぬかず、書く事。そして、4年生、5年生と6年生の習字を基にして練習しました。

粉川 イザウラ 幸枝

1月29日 水曜日 晴

2時限目 日本史 瀬山先生

今日、瀬山先生は日本の大正時代と昭和時代のことについて説明して下さいました。

大正時代 暗い時代

大正デモクラシー

労働運動

社会主義の芽生

昭和時代 経済的破綻

農村社会が都市社会に

今日で、一応日本史の授業が終わりました。短期で、日本の何千年の文化、歴史を知ることができて、とても嬉しいと思っています。この授業を受けて、少しは日本を理解することができたと思います。ただ、残念だと感じたことは、現代の日本は伝統を忘れはじめていることです。瀬山先生の話では、日本は今まで絶えなかった理由は、伝統を守ってきたからだと言いました。最後に、日本は基本的には、伝統と近代化の国であると抑えました。

今日まで、すばらしい授業をして下さって、本当に参考になりました。瀬山先生どうも色々とお世話になりました。

菅野 百合子

1月30日 木曜日 晴

気持ち良い晴れた空の下では、皆は朝のうちゆっくりして、それぞれ銀行に行ったり、お洗濯やお買い物など自分の用事を済ませてから大学に行きました。

今日は、3と4時限目に佐藤先生の美術の講義がありました。今回先生はPOP-UPという工作を教えて下さりまして、大変楽しかったです。画用紙で人間や動物を簡単な折り方で動かすことが出来るというのは本当に珍しく思いました。今日はPOP-UPの練習だけでしたけれども色々な工夫をするのにかなり時間がかかり、すぐ2時間が経ってしまいました。

池田 美津子

1月31日 金曜日 晴

今年から横浜線で玉川へ通うようになったので電車の乗換えも1回ですみますし、毎日腰掛けて行かれますので私達も日本人を見習い、電車の中で本を読みながら通うようになりました。

今日は2時限目からでした。玉川に着いたのは、午前10時15分頃でしたので皆で20分程ベンチで日向ぼっこをしてから教室に向いました。金平先生の記事表現でした。今日の講義内容は、詩の指導法でした。先週渡していただいたプリントを私達が読んで行ったので、先生は一人一人の感想を聞き、指導して下さいました。詩を書かせるには、まず最初に具体物を見せ、それを直観的にとらえたことを出来るだけ多く書かせ、その具体物から引き出せるようになったら単語、文、文書へと移行して行くに連れ、ものを見る目、感じる心が育って行くとの事です。又、それらを表現するには、人のまねではなく、生活の中から自分の言葉を使わせるように仕向けるのが大切であるそうです。

私は、詩などあまり書いた事がないので先生が渡して下さった指導案は私にとってはとても役に立ちました。

3, 4 時限目は美術でした。

今日は、昨日の「ポップアップ」作りの続きをやりました。絵が苦手な上、不器用な私にはぜんぜん思うように行かず、やり直しばかりしているうちに時間が経ってしまうので気がきではありませんでした。でも、4 時限目の終りにはなんとか馬の頭と尾が動くような物が出来ました。

帰りに汐見台病院に日曜日から入院している串間さんをお見舞いに行きました。今日はもうずいぶん元気になり、顔色も元通りになっていました。それに昨日までずっとやっていた輸血も、もうなくてよくなりました。串間さんの元気そうな姿を見て一安心しました。

いつも大声でお話したり、笑ったりして、はしゃいでいた串間さんがいないとセンターまでシーンとして寂しいです。串間さん、どうか一日も早く元気になって下さい。

玉田 ルシア めぐみ

2月1日 土曜日 晴時々曇

2 時限目から授業になっているので8 時55分にセンターを出ました。

今日は朝から雨が降りそうでしたけれど、雨にも関わらず張り切って玉川大学へ向かいました。

2, 3 時限目 美術 佐藤先生

製本について先生は色々詳しく説明して下さいました。そして、一人一人自分が作った作品を集めて製本する事が出来ました。

相変わらず本日も大変寒い一日でありました。Pm 3 時に玉川を出て行きました。もう、薄暗くなったところにセンターに着きました。

杉山 ノルマ クリスティーナ

2月3日 月曜日 晴

今日は、珍しく1 時限目から授業がありました。いつもより、少し早く起きて、7 時15分に全員そろって玉川へ向いました。

9 時から長野先生の研究室で授業が行なわれました。最初は、国語の本を沢山紹介していただきました。

次に、「日本語の味わい」と言う題の講義をテープで聞きました。日本語は、外国語と比べると、単語が多くて、豊かな言葉である事が分りました。

2 時限目は、日本史の最後の授業で瀬山先生の研究室で行なわれました。

今日は2月3日で節分の事を説明して下さいました。鬼の面を一つずつ分けて、豆をそれぞれの年の数ほど食べました。その後、京都のビデオを見せていただき、昼食には、皆でおべんとうをいただ

きました。

最後まで良い授業をなさった瀬山先生に心から感謝いたします。

13時からスキー研修の説明がありました。皆、とても楽しみにしています。16時から18時まで学研で見学させていただき、とても参考になりました。(何冊か本をいただきました。)

井内 典子 スエリ

2月4日 火曜日 晴

今日、一日中、国際交流基金の日本語教師研修生の一人が私達の授業を見学に来ました。彼女はブラジルの日系二世の大山マラさんです。大山さんの研修期間は7ヶ月で、今月帰国するそうです。

今日の授業は2時限目から始まり、片山先生の文法の授業でした。敬語の教科書を交代で読みながら、片山先生が色々な説明をなさいました。内容は、先週の続きで、謙譲語と丁寧語の特徴についてでした。

3時限目と4時限目は石川先生の書道の授業でした。いつものように、A組とB組に分れ、大山さんは、3時限目のA組に入りました。今まで、先生からいただいた1年生から6年生の小学生用の手本を授業で練習しました。今月の末に私達、書道の作品を仕上げる事になっています。そのため、私達一人一人、好みの2文字、例えば平和、真実、幸福などを選び、去年の12月から練習しています。今日も、皆、それぞれのテーマを練習し、先生から指導を受けました。

大学の帰りに、磯子の病院で入院している串間さんをお見舞いに行きました。彼女が、元気そうだったので、私達は安心しました。明日からスキーの旅行に行きます。彼女は一緒に行く事が出来ないのが大変残念な事だと思います。病院からセンターに戻り、スキーの準備をしました。楽しみにしています。

矢口 真理子

2月5日 水曜日 晴

待ちに待ったスキー旅行の出発の日になりました。カナダの矢口さん以外、スキーをしたことのない私達、又雪の降らないブラジルから来ている私のような人は、ある面ではうれしきで胸一杯でした。その反面私達のグループの一人一人、とっても寂しい気持ちでいるのに違いないと思います。それは私達の10人のグループの中、3人も今日スキー旅行に参加することが出来なかったからです。串間さんはおかげさまで、もう元気ですが、やはり無理は未だ出来ないのです。杉山さんは突然小さな手術をしなければいけないということが昨日分かり残念ながらスキー旅行はあきらめなくてはならないことになりました。もう一人玉田さんは串間さんの親友として又、私達のグループの団長として残る方が自分も落ち着くということで、スキー旅行に行かないことになりました。玉田さんのおかげで私達残り7人は安心して出かけることが出来ました。何もかも、いつもおまかせしてしまい申し訳な

く感謝します。

私達7人は午前10時15分にセンターを出発しました。横浜の駅に11時に玉川の国際部の地主さん、又私達のコーチになって下さる玉川大学農学部4年生の荒井陽子さんに会うことになっていました。約束く感謝します。

私達7人は午前10時15分にセンターを出発しました。横浜の駅に11時に玉川の国際部の地主さん、又私達のコーチになって下さる玉川大学農学部4年生の荒井陽子さんに会うことになっていました。約束通り11時に全員集合し、上野駅に向いました。

12時に長野行きの特急に乗り、やっと落ち着いた気がしました。お弁当を食べながら音楽を聞きながら、本を読みながら、外の景色を見ながら、それぞれ電車の中の3時間を楽しみました。私は本を読んでいましたが時々顔を上げて窓からながれていく景色を見ました。その移り変わりはとっても印象的でした。トンネルを越えると雪がちらちらと所々見えて来て、思わず身震いをしたりしました。

午後3時頃長野に着きました。そこにホテルのマイクロバスが私達を迎えに来ていました。バスに乗り、ホテルまで1時間位かかるということでした。私はまた、外の景色に感動しました。ずっと続く山々は白くて美しかった。お砂糖が山に一杯かかっているような感じがしました。

4時頃、ホテル西正に着きました。何となく疲れていました。部屋で5時半までこたつに入ってゆっくりしました。その後、夕食をしました。鍋物にお刺身、お吸物、とってもさっぱりしたおいしいお食事ばかりでした。

ホテルには温泉がありました。寒さ、又疲れを流すような感じで何とも言えない良い気持ちでした。みんな9時頃休みましたが、私は明日が楽しみで興奮して、なかなか眠れませんでした。

この4日間、誰も怪我もせず、無事に返れるようお祈りします。お互いに気を付けましょうね。そして、また一つ良い思い出を国に持って帰れるように努力、協力しましょうね。

上 田 恵 美

2月6日 木曜日 晴

ホテルの窓をサッと開くと、外はまっ白でした。雪がすっかり家々の屋根に積もっており、ホテルの窓には、つららが下がっていました。感激で皆思わずワーッと声を出しました。

今日は全員7時頃起床しました。とっても気持ちの良い温泉がホテルの屋上にあり何人かは温泉にっかりに行きました。8時には皆でホテルの食堂に集まって朝食をいただきました。

今日はいよいよスキー場へ行ってスキーをやる日です。皆、胸をワクワクさせてすごく興奮しているようでした。

9時になると、ホテルの方が私達をスキー場(安南平)まで送ってくれました。スキー場への途中素晴らしい景色を見る事が出来ました。

9時30分頃にスキー場に着きました。スキー場は玉川学園の小学部の生徒で一杯でした。まっ白いゲレンデをさまざまな色のスキーウェアを来た生徒達がすべっていました。スキー場をまだ一度も見たことがなかった私は一時じっと立ち止まってその景色を眺めていました。すると玉川の関係者の方がいらして、私達を事務所まで案内して下さいました。そこには、私達のスキーウェアやスキーぐつ等が全部用意されていました。全員、一人ずつ、自分のサイズのスキーウェアをいただきました。それをさっそく来て、私達は外に出ました。厚いスキーウェアや堅いくつに慣れていない私達はまるでロボットのようにカチンカチンと歩きました。

荒井コーチと地主さんは私達を外の方で待っていて下さいました。全員そろると、まずはじめに準備体操をやりました。それからスキーを付けて少しずつ荒井コーチの指導に従って動き始めました。雪の上をスキーがズルズルとすべるので、初めの頃はどうしようもありませんでした。皆、するするとすべったり、ころころところがったりしていました。でも、2、3時間たつと皆だいたいバランスがとれるようになりました。皆で、とっても喜びました。

12時頃になると、私達は食堂に行きました。そして、おいしいカレーライスをいただきました。少し休んでから（1時半頃）また、スキーの練習を始めました。

午後からはリフトに乗って山の上の方へ行いました。まだすべることもまともにできないまま、私達は山の上に行ってしまうました。そして、そこで荒井コーチと地主さんが少しずつ山をすべっており、私達に教えて下さいました。2、3回山を降りているうちにだんだんすべることが出来るようになりました。日がくれる頃にはもう、一度もころばずに山の上からすべって降りることが出来るようになっている人もいました。これは荒井コーチと地主さんのすばらしい指導のたまものだと思います。

午後4時半頃にスキーの練習をやめました。そして、又、ホテルのマイクロバスに乗って、ホテルまで帰りました。

6時においしい夕食をいただきました。一日中体を動かしていたせいか、すごく食欲がでて、皆たくさんいただきました。

今日はとっても楽しい一日でした。でも玉田さん、串間さんと杉山さんが私達と一緒にスキーに参加することができていれば、もっともっと楽しかったに違いありません。

スキーに参加することができた私達は来ることができなかった友達に、たくさん楽しい、そして良い思い出をおみやげとして持って帰りたいと思っています。

明日とあさって、2日間、私達はがんばります！

宗 仁子 マルガレッタ

2月7日 金曜日 晴

7時頃、皆は起床しました。体中に痛みを感じていましたけれど、今日も一日楽しみで一杯でした。

朝食をいただいた後、さっそくスキーウェアを着、支度を始めました。そして、9時半頃、スキー場へ到着しました。皆の早くすべりたいと言う気持ちが顔に現われていました。最初に準備体操です。荒井コーチの見事な指導のおかげで、私達はますますすべれるようになりました。それよりも、もっとすばらしい事は、スキーが大好きだと言う気持ちが満ちあふれている事だと思います。真白なふんわりした雪の中を頭からつっこんでいく井内さん。そして、むっくりと起き上がり、一人で大笑い。転んで、転んで、転んでも一生懸命がんばる菅野さん、すばらしいわ。気楽にスイスイすべる矢口さんはコーチを手伝ってくれました。

昼食がすんだ後、なんと、雪ダルマを作りました。子供になった気分で、膝までつく雪の中で楽しみながら作りました。頭にはバケツ、サングラス、ハンカチのネクタイ、そして手袋で出来上がり！なんて、かわいい雪ダルマさんでしょう。

4時になった時、皆はがっかりしました。もっとすべりたいんだけど、もう帰る時間でした。今度は明日しかないんだから、がんばろうね、と言いながら、皆のはんわりと雪焼けした顔は輝いていました。

粉川 イザウラ 幸枝

2月8日 土曜日 晴

今日は、全員7時頃に起床しました。朝食をすましてから、9時にスキー場に出かけました。9時30分頃、スキー場について、それからリフトで山の上まで、行きました。今日は、最後の日なので、みんなは時間を無駄にしないで、コーチについて一生懸命すべりました。

12時頃まで、色々なすべり方をして、それから食堂に戻って、昼食をいただきました。13時頃まで一休をして、またリフトに乗って山の上まで行きました。

15時までコーチについてすべっていましたが、もう全員は、すいすいすべれるようになったので、コーチは私達を自由にさせました。ちょっとスキーを止めて、私達は橇ですべり始めました。みんな色々なことを忘れ、まるで子供の様になって、大騒ぎしながら遊びました。残念ながら、楽しい時間は終わりました。

16時頃、みんなは、つまらない顔をしなが、スキーの道具、スキーウェアを戻しました。それから、スキー場の皆様に挨拶をしてから、ホテルに帰ってきました。

このスキー研修旅行が楽しかったのは、荒井コーチのおかげです。大変親切にスキーの指導をして下さり感謝しております。それから、色々私達の世話を下さった地主さん、本当にありがとうございます。

この研修旅行は、みんなのよい思い出になります。残念ながら、玉田さん、串間さん、そして杉山さんが参加することができなかったのが、ちょっと寂しかったです。

明日は、12時34分の電車で東京へ発ちます。

菅野 百合子

2月9日 日曜日 晴

今日は、スキー研修旅行の最後の日となりました。朝は皆ゆっくりして7時15分に起き、温泉に入ってから朝御飯を食べました。お食事をしている間、それぞれ最初の日にスキーをやった時のことを思い出して大笑いでした。次の機会はいつになるかと思いながら10時に西正ホテルを出ました。長野駅の近くでおみやげを買ったり、写真を写したりして、12時20分まで自由時間を楽しみました。

あさま56号で12時34分に長野駅を出発しました。電車の中でお弁当を食べたりお話をしていると、あっという間に3時間経ち、上野駅に着きました。また、いつか近い内に会いましょうという事で地主さんやトラちゃんとお別れし、私達はセンターに帰りました。

荒井陽子さん(トラちゃん)の指導で皆がすいすいすべるようになって本当に嬉しかったです。ありがとうございました。

玉川大学国際部の地主さん、あくまでも私達を応援して下さいまして、心から感謝します。この4日間の経験は一生忘れられません。国へ帰ったら良いお話が出来、皆に伝えたいと思っております。

池田 美津子

2月12日 水曜日 晴

昨日降った雪が、芝生の上にフンワリと残り、空には雲一つない、素晴らしい青空の下を私達9人は一週間ぶりで玉川へ向いました。

今日は、午前中だけ講義があり、午後からは書道展覧会に行きました。

1時限目は日本語教材研究でした。今日の講義で、先生は私達の文章の理解度をテストするつもりだそうです。先生は芥川龍之介の「くもの糸」のプリントを配って下さいました、一人一人に少しずつ読ませ、各自の発音やアクセントなどの注意をただで1時間が過ぎてしまい、そのテストはやりませんすみません。

2時限目は体育でした。初めの50分間は、音楽に合わせてリズム体操をやりました。もうずいぶん長い間同じ事をやっているのですけれど、私達は相変わらずまだ、その順序をはっきり覚えていません。それをやってから2人組になって色々体操をやりました。

昼食は自由にして、玉川の駅に午後1時に集合する事にしました。

書道の先生と上野公園の東京都美術館で2時30分に待ち合わせでしたが、先生は急用が出来たそうで3時にいらっしゃいました。私達は3時から4時50分まで先生と作品を拝見しました。4時頃会場の休憩所に腰掛け、皆自分自分の感想を先生に述べ、それからもう一回りしました。皆それぞれ変わった印象を受け、いい勉強になったと思います。

今日は、帰りが遅くなってしまったので申間さんの面会に行かれなくなってしまいました。

ZILDA, ごめんね!

玉田 ルシア めぐみ

2月13日 木曜日 晴

朝はそれほど寒いと感じなかったが、お昼過ぎになると気温が下がったので、冷えて来ました。

4時限目から授業が始まるので、いつもより遅くセンターを出発しました。

4時限目 海外日本語教育 上原先生

本日の授業の内容は、いろはガルトでした。その内容について色々先生と話し合いました。

ことわざ一つ一つの異なった意味を改めて考えさせられました。先生に訂正される場所が多かったけれど、思い当たることがあったり、とても参考になりました。

相変わらず今日も大変寒い一日でした。18時にセンターへ着きました。

杉山 ノルマ クリスティーナ

2月14日 金曜日 曇のち晴

今日は、体育の最後の授業でした。今まで習った体操を復習し、3～4人のグループで、やってみました。輪を使ってする体操は、なんとかできました。けれども、「安らぎの一時」やボールを使う体操は、もうだいぶ練習していないので、あまりよくできませんでした。先生は、私達の良いポーズの時にだけ、写真を写していました。

授業の最後に、今まで習った体操のカセット・テープを全員がもらいました。

帰国してから、このテープを聞いたらきっと楽しかったことや、つらかったことを思い出すに違いありません。

次の2時限目は休みでした。

昼食はそれぞれ自由にとりました。

3時限目は、「日本語を考える」片山先生の授業でした。講義内容は、「言葉はつねに時代とともに変化していて、敬語も少しずつ変化している。」ということでした。

授業は、14時30分に終り、それぞれ自由にセンターへ帰りました。

井内 典子 スェリ

2月17日 月曜日 晴

今日、玉川大学での授業はありませんでした。その代わりに、東京外国語大学の付属日本語学校での見学がありました。午前10時に根岸の駅前に集合し、電車を2回乗り換え、約2時間もかけて、やっと中河原と言う駅に着きました。そこで、昼食をして、12時半、東京外国語大学の日本語学校に行きました。江崎さんと谷田さんも、私達と一緒に見学をなさいました。

東京外国語大学付属日本語学校は、生徒は全員外国人で、学部生と日本語・日本文化研修生の二つのグループに分かれています。この学校に入学するために、生徒達は自国で厳しい試験競争を受けて来たそうです。例を挙げますと、タイでは、700人の希望者の中から、たったの10人しか選ばれなかつ

たそうです。選ばれた生徒達は、世界中から来ているそうですが、東南アジアからの研修生のほうが多いそうです。

この日本語学校の特徴の一つは、小さい学校ながら、生徒数のわりに、先生が多いと言う事です。日本語の先生は14名もいるそうです。学生は8人ずつの少人数のクラスに別れ、一つのクラスには二人の先生が付いています。一人の先生は導入の先生でもう一人は練習の先生、いわゆるドリルマスターです。生徒達は、来日時には、日本語を一言も話せなかったそうです。

二つの授業を見学しました。最初の授業では、先生が「幸せな二人は金の卵を生む」と言うビデオを使われていました。ビデオを生徒に見せ、プリントに書かれてある質問に答えさせました。良かったと思ったことは、生徒が分らない所があったら、先生が例を次から次へ出しながら説明をなさったことです。次の授業は、一週間に一回に行なわれる文法の授業でした。ここで、学生は他の授業で出て来る文法的な質問を先生にしたり、文法の復習をしたりしていました。授業見学はこれで終わりました。学校と寮を案内していただきました。

16時に中河原駅前解散しました。

矢口 真理子

2月18日 火曜日 曇後雪

朝、起きた時空が何となくどんよりしていました。しかし、後から雪が降るとは、全然予想もしていませんでしたので、傘も持たずに玉川に出かけました。

1時限目は金平先生の文章表現の授業でした。「誕生日」という、光村教科書の5年生の下巻にあるテキストを使って勉強をしました。このテキストは誕生日を待ち望む雄二という登場人物の気持ち、その日の喜びを素直に美しい文章で書き表されてある物でした。

このテキストを通して、どう工夫すれば物事や行動を描いて心を表せるのかをいろいろ理解しました。「うれしい」「悲しい」という言葉を使わず、具体的に物事、気持ちの説明が出来るということ、そしてその相手にもっともっと伝わるということをそのテキストは表していました。

授業が終わり、小さい窓から外をふっと見るとサーッと細かい雪が流れるように舞い落ちていました。2時限目と3時限目は書道の授業でした。私はAグループで最初にしました。それぞれ選んだ2文字を一生懸命練習しました。先生も一人一人を指導し、ちょっと直せば良くなるというところをいくつか教えて下さいました。正座しながら、静かな教室の大きな窓から外をながめ、練習をしました。最高の気分でした。樹々の枝に真っ白い雪がそっと次から次へと積もって行き、何となく暖かい落ち着いた感じがしました。

授業が終わった頃も、雪は降り続けていました。玉川の緑は白かった。自然の美しさに又、感動してしまいました。ブラジルでは、絶対に見られない景色なので、いつまでも見ていたいなあという気持ちがしました。5月の玉川の新緑、10月の紅葉、落葉そして、今日の雪景色！本当にいつまでも心

に大事にしまって置きます。玉川の有名な桜だけが見て行かれないのが本当に残念です。

授業の後、午後6時に皆、関内駅に集合しました。その近くに、スキーのコーチをしてくださった荒井陽子さんの家があり、天ぶら専門ということで、私達を招待して下さいました。新鮮なお魚のお刺身、そして、温かい天ぶらをゆっくりお話をしながら頂きました。お刺身は口の中に溶けるようで天ぶらはパリッパリッと音がして出来立ての物はやはり違うなあと思いました。

陽子さん、そして優しい荒井さん御夫妻、親切に暖かく迎えて下さり、本当にどうもありがとうございました。楽しい一時を過ごし、もう一つの思い出をつくり、しんしんと降る雪の中を全員一緒に帰って来ました。

上田 恵美

2月19日 水曜日 雪

今日は全員朝の6時頃に起床しました。今日は何だかいつもよりひんやりとしているので、カーテンを開けて見ると、外は真白でした！空はどんよりと曇っていて、雪がしんしんと降っていました家々の屋根や木々の上に雪が積もっていました。いつも見慣れている景色が、今日は何だか全然違うように見えました。

ちょっと外に出て見ると、風が強く吹いていました。そして足がすっぽりと雪の中にはいりこんでしまいました。このような調子だと玉川まで行くのはちょっと無理だと思って、皆で相談しました。相談した結果、玉川の国際部の方へ電話をかけて、朝の間だけ大学へ行かないことにしました。だから、今日の方先生の授業は出席することができませんでした。

午前10時頃になると、雪はだんだん降りやんできました。

午後12時頃から皆、センターを出て玉川大学へ行きました。そして午後1時半頃から佐藤先生の美術の授業に出席しました。

美術の授業では先週作った本の表紙を作りました。和紙等を使いながら皆ステキな表紙を作りました。

佐藤先生の授業は4時頃に終わりました。

私達は玉川の素晴らしい雪景色を楽しみながらセンターへ帰って参りました。

宗 仁子 マルガレット

2月20日 木曜日 晴

第1,第2時限目：表現教育一方先生

まず、最初に体操をします。号令をかけるのではなく、感じる言葉を出します。例えば、両手をぐんと上に伸ばし、「う〜ん」とか「あいたたたたっ...」。又は、目の運動では、横に「グルッ」、円く「クルックルックルッ」、前を「ジッ」と、さまざまな場所へ「キョロキョロ」と言うようにやっ

ていきます。

今までやって来たものも繰り返しました。スカーフを取り、リズムに合わせて、体を動かす。言葉を感じて声に出す訓練として、詩を朗読しました。

次は、宇宙旅行です。初めに、菅野さんが、床に寝ます。皆はその回りを静かに囲んで、菅野さんの体に手をあてます。安心感をもたらすために、強く念じる。それからゆっくりと胸上げをし、ゆっくりとその場を移動する。続いて、一人一人順番に宇宙旅行をしました。「まるで、天国へ行ったようでした。本当に！」「体が自分でないような気がした。すごく軽くなったようで…」「何んだか、皆の手から、エネルギーが伝わって来たみたいね。」と皆、感じた事を言いました。

それから、アメリカの子供達がドラマをやっているところのビデオも拝見しました。

第4時限目：海外日本語研究－上原先生

先週の「いろはがるた」の続きをしました。それから、2字の熟語の関係を話して下さいました。後で、補助動詞を使った敬語：ございます、あります、いらっしゃる、まいります、あそばせ、くださる、いただくをちょっと説明下さいました。

粉川 イザウラ 幸枝

2月21日 金曜日 晴

今日は、私達にとって長い間お世話になった金平先生の最後の授業を受けました。

授業の内容：

- ・ 言葉のまど 意味と語感
- ・ 文章構成の工夫
- ・ 叙述の工夫
- ・ 詩の朗読

その後、先生は私達に色々と話して下さいました。現地の日本語教育に合うようには、私達は教材を作ったり、教え方を工夫することが一番大事だとおっしゃいました。

金平先生は、教育指導法のことだけではなく、あらゆる事について、ご親切に、しかも私達に分かりやすく、色々と教えて下さいました。本当にありがとうございました。

菅野 百合子

2月22日 土曜日 晴

今日は、玉川学園で小学部の発表会がありました。私達は5人で発表会に行きました。平日の玉川学園は人が大勢で賑やかですが、今日は誰もいなく、とても静かでした。

今日の発表会は、生徒達が仲間同士に見せ合うものでしたので見物人は何人かの親と私達だけでした。

1年生から6年生まで素晴らしい発表でした。小道具などは、子供達で作った簡単な物で、どの発表も生徒全員が参加出来るものばかりでした。一つ一つの発表、どれにも音楽が中心となっていました。音楽と行ってもレコードやテープは全く使用せず、子供達が楽器を弾き、子供達が指揮をし、子供達が歌ったものです。それはなんとも言えない活気にあふれたもので本当に感動させられました。子供達の元気の良さと礼儀正しさにはびっくりしました。

この発表会で、色々と国で実行出来そうなどとても良いアイデアを得る事が出来、とても良い勉強になりました。

玉田 ルシア めぐみ

2月24日 月曜日 晴

日本語教師Bコースとセンター職員

1. 時間：2月24（月）午前9時40分～12時
2. 場所：第1研修室
3. 趣旨：「日本語」について感じていること、考えていることを気楽に自由に話し合う
(日本語での研修、生活および現地での授業、学習、生活に関連して)。
4. テーマ：日本語について（どんなことでも）

(例)

日本語についてどのように感じているか。

学習したい日本語とは？

方言についてどう思うか。

日本滞在中日本語のレベルアップのために効果的な方法は。

日系人の子供達にどのような日本語を教えたい、又学ばせたいと思うか。

今日は国語教材研究の最後の授業となり、さまざまな思いでをそれぞれ胸にいただき、長野先生に感謝し、教えて下さったことを活用して、子供達が楽しく学べるように努力したいと思っております。

授業の内容：一人一人に「早くしなさい」と言わせて録音する。

書く時や話す時には次の所に注意しなければなりません。

1. 内容
2. 形式…Aことば（用語）

B口調 (声の使い方)	}	発音
		発声
		高低・強・弱
		アクセント
		速さ

イントネーション
プロミネンス
ポーズ (間)

3. 表情身ぶり

長野先生最後の最後まで、私達の事をご心配して下さいましてどうもありがとうございました。先生のような、すてきな若い男性を一生忘れられません。

池田 美津子

2月25日 火曜日 晴

相変わらず、今日も大変寒い日でした。

2時限目から授業だったので、8時55分にセンターを出ました。

2時限目 日本語を考える 片山先生

敬語の仕組みについて、第2敬語の用法に関する問題点から先生は色々とくわしく説明して下さいました。

3時限目 書道 石川先生

まず先生は、書道は何であるかとの説明から始まり、皆で話合いました。それから作品のお稽古を続けました。先生に訂正されるところが多かったけれど本当に楽しい時間を過ごす事ができました。

本日はとても良い一日でありました。“B”グループは5人そろって、午後3時にセンターへ帰りました。

杉山 ノルマ クリスティーナ

2月26日 水曜日 晴

毎日、気持ちのいい、天気が続きます。私達7人は、元気に玉川へ向いました。

今日は、表現教育の授業が2時間も続けてありました。最初に大きい声を出す練習をしました。音楽のボリュームを高くして、私達の知っている詩を読みました。

次に、体を動かし、椅子の上で、簡単な体操をしました。体操の後に「ソメコとおに」の朗読劇を練習しました。練習していても、皆それぞれの役になりきっている物ですから、とても楽しかったです。その後で、1時間ぐらいコーヒータイムがあり、先生と色々なお話ができました。

次に外国での児童劇の映画を見せてもらいました。どの子供を見ても、それぞれの動きやすい形で表現していました。

最後には、「ソメコとおに」をもう一度心をこめて演じました。

今日は、3人も休みました。来週からは10人そろって通学できる事を楽しみにしています。

井内 典子 スエリ

2月27日 木曜日 晴

9ヶ月の長いような短いような期間、色々な先生に出会い、色々な知識を得ることが出来ました。今日が玉川大学での最後の授業の日だったとはとっても信じられません。

今日も1時限目と2時限目に方先生の表現教育の授業がありました。昨日から練習している「ソメコとおに」の朗読劇を仕上げるということになっていました。朝早いということで、まず声を出す為になつかしい祖父母の時代の歌「富士の山」と「故郷（ふるさと）」を歌いました。その次、冷えている体をリラックスさせる為、椅子にすわったまま、あるいは椅子を使って、色々体操をしました。音楽のリズムに合わせていろんな泳ぎ方をしました。お年寄りの方や、体の不自由な方や、授業中学生達をリラックスさせる為に変な泳ぎ方だと思いました。音楽と体操が終わり、猛烈に「ソメコとおに」の練習を始めました。2つのグループに分かれ、それぞれ方先生の御指導を受け、動作を入れたり、声の出し方等に気を付けたりして練習をしました。お休み時間になり、いつものようにコーヒーを飲みに行ったら、方先生の奥様がケーキをお持ちになっていらっしゃっていました。暖かいお心使い、本当にありがとうございました。ゆっくりお話し合いをしながらおいしいケーキとコーヒーをいただきました。

お休み時間も終わり、すぐ「ソメコとおに」の発表に入りました。本当に楽しい一時を過ごしました。朗読劇は国でも是非使わせていただきます。

4時限目は上原先生の海外日本語教育の授業でした。まず最初にL1教室へ行って、「いおしこますつとにむぐきゆれぬふえさりよもほかんさみこせやた」を一人一人、同時にテープに吹き込みました。目的は、一人一人の音違いの調査をすることだそうです。

「人間は自分の気持ちを表す為、口から音を出す。「以心伝心」、人間は心を持っているから、いつも何かを伝えたい気持ちがある。自分の心、自分の感覚をいつも鋭く、いつも磨くように努力すれば言葉も自然と身に付いてくる。」又、最後に「あなた達はおとなしくなって日本人らしくなった。」と先生はおっしゃっていました。

本当に先生方から9か月の間に教わった一つ一つのことを忘れることなくいつまでも自分の心の中に、そして、これから指導する生徒達の心の中に、ブラジルの心の中にも浸透させていきたいと思えます。

国に帰っても玉川で得たものの結果はすぐに出て来ないと思います。しかし、あと5年、10年たったら、美しい玉川の心は、私達のそれぞれの国で芽生えてくるでしょう。どうか先生方、お楽しみにしていて下さい。一つ一つのお言葉、一人一人の笑顔、一つ一つの思い出を本当に心から感謝致します。

上田 恵美

2月28日 金曜日 晴

玉川大学で授業を受けることは昨日で最後でした。今日から特別行事以外、玉川学園に通うことはありません。5月以来、玉川大学と親しくなり、多少悲しいです。しかし、皆で最後まで頑張ってきた満足の気持ちの方が強いのではないかと思います。

今日は、私達、国に持って帰る教材に関して、午前10時に凡人社の石川さんがセンターにみえました。凡人社の方から昨日、参考のために、ある教材をセンターに送って下さいました。折角、送って下さいましたが、それほど参考になりませんでした。ほとんどは外国人向けの教材でした。私達は子供達を対象として、日本に研修しに来たので、現地に帰ったら、子供向けの教材の方を必要となるのではないかしらと思います。凡人社に来ていただくよりも、私達がそちらに行った方がずっと良かったと思います。石川さんがご親切に、色々と説明して下さいましたが、凡人社の日本語教材リストを見ただけで、自信をもって、教材を選ぶのは無理だと思います。石川さんと色々相談したあと、結局、私達が凡人社へ行って本を実際に見ながら、教材を選んだ方が良く決めました。皆で来週行くことにしました。11時に終わりましたので、午後から自由でした。

矢口 真理子

3月1日 土曜日 晴

12時、国際室に集まりました。皆は、大変おめかしして来ました。串間さんも、元気な顔を見せていました。それもそのはず、今日は玉川大学の修業式だから。小原芳明様、JICA本部の佐々木様、北村所長様の挨拶の後、私達は色々先生方と話し合いながら、ごちそうをいただきました。

玉田さんは、皆を代表し、挨拶をしました。感謝の気持ちと、私達の無理な事を色々聞いて下さった事などを述べました。

それから、お世話になった先生方、国際部の皆様にもちょっとしたプレゼントを渡しました。それから、横の部屋で小原哲郎学長様から一人一人修業証書をいただきました。いつもワイワイ、ガヤガヤと楽しくやっていた皆その時の気分は、ただ感激の気持ちだけだったでしょう。

今日で玉川とはお別れなんだなあ…始めて来た時はつつじがきれいに咲いていたんだなあ梅雨の時期は過ぎ、紫陽花の変わりに山百合にかきの季節に移り変わった。玉川の講義、参観行事、旅行、スキー…すべてなつかしい思い出になって来る。きっと皆の心には、日本に来てよかった。玉川大学で研修出来てよかった。と言う気持ちでしょう。

粉川 イザウラ 幸枝

3月3日 月曜日 晴

今日から、新宿日本語学校で研修が始まりました。全員6時頃に起床して7時にセンターを出発しました。

新宿日本語学校に8時半頃に着きました。そして、税経ビルで杉山先生にちょっとしたオリエンテーションをいただきました。9時半からは二人ずつ組んで各クラスを見学させていただきました。

中級二 クラス見学

授業のはじめに先生が生徒達に新聞記事をわたしました。その新聞記事を読んで生徒達は文章をよくやりました。その後、生徒達は再び文章を読み、今度は内容のコメントをしました。先生は「ごい」の説明をしながら色々アドバイスしていました。

クラス見学は11時に終わりました。11時半に私達はもう一度税経ビルに集まりました。そして藤井先生の助動詞の説明を聞きました。助動詞の色々な働きや特徴を説明していただきました。

藤井先生の授業は午後の1時30分に終わりました。私達は急いで近くのレストランに行って昼食をすませました。

午後2時から江副先生の講義が始まりました。

江副先生は初級教授法について色々話して下さいました。

まずはじめに、名詞から日本語を導入する方法、動詞から導入する方法、あいさつから導入する方法、そして最後に直接法について詳しく説明して下さいました。

その後、カタカナと平仮名の教え方について詳しく話して下さいました。

最後に文法用語の説明を簡単にして下さいました。

午後4時に授業は終わりました。

宗 仁子 マルガレッテ

3月4日 火曜日

今日は、新宿日本語学校の2日目でした。9時30分からそれぞれクラス見学に行きました。見学は、11時15分に終わりました。それから、11時30分から私達の授業が始まりました。

今日の授業は、杉山先生の参考文献でした。日本語を教えるのには、どんな指導が必要か、その他どういう本を使ったら良いか、そのことについて色々説明して下さいました。

最後の授業は、江副先生の初級教授法でした。今日はビデオを使用しながら、“あいさつ”の勉強をしました。授業は4時に終わりました。

菅 野 百合子

3月5日 水曜日 晴

昨日と同じ時間に電車に乗って、新宿日本語学校に行きました。

9時30分から11時10分まで私とグロリアさんは中級クラスを見学しました。生徒は授業中日本語で話すようにしています。それでも友達同志では自分の国の言葉で話すので、先生が注意して、罰金を払うようになっています。

聴覚練習の時には生徒にテープを聞かせ、問題の答えを書かせていました。

文法の時には例文を生徒達に読ませて、先生は絵を書いたり、ジェスチャーをしたり、生徒の回りにある物で説明していました。それで先生はあまり話さないで、生徒が話すようにしました。

11時30分から午後1時10分まで松尾先生は動詞の活用形による分類についてお話して下さいました。午後2時から4時まで、初級教授法の講義でした。

江副校長先生は漢字のなりたちや実用漢字練習帳の使い方や敬語について、お話して下さいました。皆、帰国準備と一日中の講義で疲れたようです。もう少しですから頑張りましょう。

串間 ジルダ

3月6日 木曜日 晴

今日も私達はセンターを7時30分に出ました。きれいに晴れていましたけれども、とても冷たい風が吹いていました。

3週間も入院し、もう1週間センターで安静していた串間さんは、今週の新宿日本語学校通いには、疲れはて、今日は休みました。

9時から11時10分までは、いつものように授業参観でした。2人ずつ初級と中級クラスで見学させていただきました。井内さんと私が見学したのは初級Ⅱで、マレーシアの人が大勢いました。少々のお話は分かる人達でとてもジナミック（ダイナミック）なクラスでした。

11時半からは上田先生の待遇表現でした。敬語をどこまで、どのようにして教えれば良いか説明して下さいました。その他、言語の教師としてのアドバイスなどなさって下さり、とても良い勉強になりました。

昼食後、江副先生の講義がありました。今日は先生は「時間の流れ」と「気持ち」と「原団」を表わす言葉のリストを下さり、一つ一つの単語の意味と、これをどのようにして教えたら良いか説明して下さいました。

講義が終わってからはセンターに帰った人もいましたし、買物に行った人もいましたし、私のように凡人社に行った人もいました。

一日中の講義と帰国の準備の為、皆疲れた様子ですけれども、もう一息だから元気を出して最後まで一生懸命やりましょう！

玉田 ルシア めぐみ

3月7日 金曜日 曇

今日は串間さんが入院されるので私一人で中級2aのクラスを見学しました。ちょうどテキストの日でしたから何も見られませんでした。その後、2時限目に先生がテストの答え合わせをし、日本語表現文型の150ページを説明されました。

3時限目は松尾先生の授業があり、いつものように皆と一緒にになりました。「その他の文法」の事について教えて下さいました。

4時限目に江副先生は作文指導や日本の作文技術の事についてお話しされました。生徒に作文を書かせる時にはおもしろい絵を見せながら楽しめる又、見たことや感じたことについて文を作らせるのが大切です。もう一つは絵に関係ある言葉を先生が生徒にあげて、感じたことと先生が言われた言葉をつなぎ合わせるのがもう一歩です。新宿日本語学校に参観させていただきまして、大変良い勉強になり、本当に心から感謝しております。

池田 美津子

3月8日 土曜日 晴

今日も私達はセンターを7時30分に出ました。本日は新宿日本語学校での研修が終わりました。

9時30分からPM1時まで「ワープロ実習」—江副先生

「ワードプロセッサーを利用した日本語教授法の開発」と言う本をいただきまして、それについて、ワードカルクから先生は色々とかわしく説明して下さいました。

まず、先生はワープロは何であるのかと説明から始まり、皆で話合いました。それからワープロを一人一人使いながら実習する事ができました。

先生に訂正されるが多かったけれど本当に楽しい時間を過ごしました。

相変わらず、今日も大変寒い一日でした。

杉山 ノルマ クリスティーナ

3月10日 月曜日 雨

今日は、一日中パラパラ雨が降っていました。ちょうど、私達が玉川へ初めて来た日と同じようでした。

本日は、玉川大学と女子短期大学生の卒業式が大体育館で行われました。卒業生は、珍しいはかまをはいて、少し緊張していたみたいです。

13時に全員起立して、国家を歌いました。次に、小原学長先生が告辞をされました。

それから、在学生の送辞、卒業生答辞、記念品贈呈、学位記授与、修了証書授与と卒業証書授与と、次々に行われました。

最後に校歌を歌い、昭和60年度の卒業式は終わりました。皆、それぞれ色々な思い出を胸にして、玉川を去って行くのでしょうか。

センターへ帰る前に、国際部へ行って、私達が希望していた玉川のビデオと歴史の先生にお願いしていた京都のビデオをいただきました。

玉川での研修は、とても為になり、心から感謝しております。帰国してからも、玉川で学んだ事を

忘れず、がんばりたいと思っています。

井内 典子 スエリ

3月11日 火曜日 曇り雨

今日、私達は国立科学博物館を見学することになっていました。そのため、上野駅、10時半と言う約束で谷ツ田さんと待ち合わせをしました。駅から歩いて10分の所で博物館に着きました。自由に見学することになり、皆それぞれのペースで博物館を回りました。国立科学博物館は、本館、自然館、科学技術館などに分かれ、それぞれとても面白いものがありました。私にとっては全然面白くないものもありました。気持ちの悪いものもあれば、美しいものもあるので、博物館と言うのは、とても不思議な場所だと思いました。

12時に博物館の出口で集合しました。上野動物園に行く予定でしたが、雨が降り始めたので、さきに昼食をとりました。昼食をすんだあと、雨がもっと強く降り、上野の駅前で解散することになり、そのあと自由でした。

矢口 眞理子

3月12日 水曜日 曇

今日、私達は明治座で「きみちゃん」と「お春の恋」という演劇を見に行きました。11時が開演となっていたので、9時半頃に出かけ、川端課長さんと同じ電車に乗って参りました。

最初に「きみちゃん」を見ました。きみという女性は両親がいなくて、中学を終えてすぐ作家である吉村家にお伝いさんとして入りました。とっても頑張りやで、お料理もお掃除も何もかも出来るようになりました。ある日口の不自由な青年が残飯を集めに吉村家にやって来ました。きみちゃんも上下という青年もお互いに恋をし始めた。結婚のお話も出た。父親のようであった吉村作家はきみちゃんを手離す気持ちはなかった。しかし、きみちゃんの素直な心本当の気持ちに反対はすることが出来なくなり、二人は結ばれるようになった。きみちゃんの人間性、一生懸命正しく、美しく生きている姿に感動を致しました。自分の気持ちに素直に従うことは、なかなか難しいことです。きみちゃんは誰もがいなく理想的な生き方をしています。

もう一つの「お春の恋」も又一人の女性についてのお話です。一生懸命妹の幸せのために働き、その妹は結婚してお春は一人になった。寂しくて自分も生きる目的がないと悩んでいた時に、ある男性が現れました。「たった一つしかない命」を大切にすることを教えてます。その男性も困っていた時、お春に「たった一つしかない命を大切に」と反対に助けられた。二人が幸せに生き直そうとした所で、その男性の奥様と子供が現れました。心の良い心の優しいお春はその男性を元の家族に帰し、再び一人になった。しかし、命の大切さ、愛の尊さをもう身にしみる程分かっていた。お春はだれにも負けず、自分の力で生き続ける決心をしました。お春は何度転んでもいつも立ち直し、「生きる」とい

う人間本来の目的を立派に果たしている。

私はブラジルに帰ってから、終わろうとしているこの10ヶ月間の研修の一日一日を思い出して頑張りがついていると思います。「きみちゃん」そして「お春さん」の心をいつまでも忘れずに…10ヶ月の間、私達10人はそれぞれいろいろな経験を通して、いろいろな思い出をつくりました。又、いろいろと学びました。いいことも、悪いことも、うれしい時も、悲しい時も、つらい時もありました。それを乗り越えて来ることが出来ました。将来、どんな問題に出会ってもそれを解決出来るようにと育てて下さったこの研修に感謝致します。本当にどうもありがとうございました。

上 田 恵 美

3月13日 木曜日 晴

レクリエーション 石井先生

今日は、移住センターの第一研修でレクリエーションについて、いろいろと教わりました。

私達は10時に研修室に集まりました。そして川端課長さんに石井先生を紹介していただきました。

石井先生はもと、玉川大学の教授であり、教育学部の生徒達に長年、レクリエーションを教えていたそうです。

石井先生はまず、始めにテキストを渡して下さい、そのテキストの内容のあらましを説明して下さいました。それを終えてから実技の方にはいりました。

実技では、人形、ハート型のクリップ、新聞紙を使いながらつくるぼうし等、いろいろと作りました。全部、簡単な材料を使いながら作れる物ばかりなので、現地でも多めに役立てることができると思います。

12時になると、1時間休憩をして昼食をすませました。

1時からまた、授業が始まりました。昼からは、レクソング（レクリエーションソング）を何曲か教わりました。

その後でレクリエーションゲームをいろいろと紹介していただきました。5時10分に授業が終わりました。

今日は一日中歌ったり、はねたりしながらとっても楽しい一日でした。

帰国してからぜひ、石井先生に教わったレクリエーションゲーム等を応用しながら楽しい日本語の授業を繰りひろげて生きたいと思っております。

宗 仁子 マルガレッテ

3月14日 金曜日 雨

広島→大阪の旅行（谷田さん）

外は雨。昨日は、あんなに天気だったのに、今日はどんよりとした空に雨のしずくが落ちています。

9時36分の新幹線は広島へ進んでいきます。約5時間過ぎてから、駅の近くにあるホテルニューヒロデンへ荷物を置いて来ました。そして平和記念資料館へ行きました。原爆被災時の被害実物、写真、図表、模型などの資料が多く収集展示されていました。心がはりつくような気持ち、そして、世界全人類の平和を願いながら、資料館を出ました。平和公園を通りながら願爆ドームの方へ向いました。広島駅にまた、もどってから自由行動しました。霧雨はまだ降り続いています。

粉川 イザウラ 幸枝

3月15日 土曜日 曇

今日は、研修旅行の2日目でした。

朝、9時10分に広島駅から電車で宮島口まで行きました。宮島口から船に乗りかえ、宮島に向かいました。10時から12時まで島の見物をして、その後食事をすましてから、広島駅へ出発しました。駅について、ホテルまで荷物をとりに戻りました。すぐ後に、14時16分に広島を発ち、大阪へ向いました。

17時頃、大阪に着き、ホテル京阪に泊まっています。今夜も自由行動でした。明日は宝塚まで行くことになっています。

今日は、とても忙しい一日でした。でも大変楽しい一日を過ごしました。

菅野 百合子

3月16日 日曜日 曇

明日で、この研修旅行も終わりだと言うのに今日も一日中曇っていました。

今日もホテルを9時に出発し、宝塚に向いました。ホテルから宝塚駅まで電車で1時間くらいでした。宝塚には10時5分に着き、それから私達を引率して下さった谷田さんが引替え券の列に15分程並んで券をもらって下さいました。

午前11時から午後12時35分までは「大江山花伝」と言う物語でした。これは16場面の“舞台と言いつい衣装と言いつい、美事な歌劇でした。今月の初めに玉川大学の演劇部が上演した「べっかんこおに」に似ていて、「人間性は鬼性を含んでいる」と言う物語でした。

30分の休憩があり、1時5分から2時まではショーファンタジーの「スカイ・ハイ・スカイ」でした。これは20場面の音楽と踊りで背がまるで果てしなく高く高くどこまでも、大空を舞っているように感じるような上演でした。

1番目は昔の伝説の世界であり、2番目は現在の宇宙時代の世界と言うような、全く異なった物でしたので最高でした。

劇場を出て昼食をしてから大阪城へ行きました。お城は、がっちりとしていて国では絶対見られないものですが、なによりも良かったのは梅林が花盛りだったことで、白とピンクに染まった梅

林はなんとも言えない素晴らしさでした。

ホテルに戻ったのは5時30分頃でした。それからは自由時間でした。

これが私の最後の日記です。皆、体だけは大事にして立派な日本語教師になりましょう！

玉田 ルシア めぐみ

3月17日 月曜日 晴

今日は最後の4日目の旅行でした。8時40分に集合し、皆荷物を持ち、8時50分に大阪京阪ホテルを出まして新大阪に行きました。15分の開き時間があり、それぞれ駅でおみやげを買ったり、お弁当を買ったりしました。ひかり 246号車で10時16分に新大阪から出発し、新横浜に向いました。今度の電車は自由席でしたので、好きな所に座り、3時間の旅で皆はつかれて寝ておりました。午後1時10分に新横浜に着き、それから横浜線に乗ってセンターに帰りました。

今回の旅は江崎さんがいかれませんでしたから国際協力事業団(本部)の谷田さんが一緒に行ってくださいましてガイドさんより素晴らしかったです。谷田さんはいつも親切に下さって皆一つの家族のようでした。「谷田さん、この旅行は一生忘れられません、有りがとうございました。もうガイドさんになってもいいですよ！」

夕方6時に海外移住センターの皆様が送別パーティを開いて下さり、北村さん、山本さん、川端さん、江崎さん…さんが参加しました。沢山のごちそうが出ましたので、皆はお腹が一杯になるまでいただきました。

「センターの皆様、本当にありがとうございました。」

池田 美津子

3月20日 木曜日 曇時々雨

今日で、私達の研修が終わりました。2時にセンターを出発し、10人そろって国際協力事業団の本邦の方へ向かいました。

- 4時-反省会
- 5時-修了証書
- 5時30分-パーティ

楽しかった「お別れの会」！きっと、この研修の10ヶ月間は日本で一つの大事な思い出となり、いつまでも心の中に残るでしょう。

国際協力事業団をはじめ、玉川大学や他にお世話になった先生方に心から感謝致します。

杉山 ノルマ クリスティーナ

第7回現地日本語教師本邦研修日程表
昭和60年度研修生名簿
研修生一覽表

Aコース (全期間: 6. 6. 14~60. 9. 13)

	9:00	10:30	10:40	2.	12:10	13:00	3.	14:30	14:40	4.	16:10
6/18 火	1.		来園	キャンパス・ツアー		昼食後	オリエンテーション				
19 水			日本史1	瀬山 短・会		スクーリング・	オリエンテーション				
20 木			美術1	佐藤 芸Ⅲ・造		ABリトミック1	小野 芸Ⅲリトミック		イ習字1	石川 威彦園	
21 金			近代短歌1	金平 短・会		体育1	永井 (三)		ロ習字1	石川 威彦園	
22 土		AB表現教育 方 芸Ⅲ 501	AB現地授業研究1	正善 文I. 402							
23 日											
24 月			日本の文字1	平山 短歌 502		AB幼児教育1	永井 (四)	短・405	海外日本語教育1	上原 短・会	
25 火		AB音楽1 朝日 文II 405	日本語を考える1	片山 短・会							
26 水		国際学友会参観									
27 木		8:20小学部参観				ABリトミック2	小野 芸Ⅲ・リトミック		小・懇談会	小学部	
28 金			近代短歌2	金平 短・会		体育2	永井 (三)		AB美術	山崎 小・美術	19:00日本民族舞踊鑑賞
29 土		AB表現教育2 方 芸Ⅲ 501				中学部音楽祭					
30 日											
7/1 月			日本の文字2	平山 短 502		AB音楽1	千塚 中音楽祭		海外日本語教育2	上原 短・会	
2 火		9:00幼稚園参観				美術2	佐藤 芸Ⅲ・造		日本語を考える2	片山 短・会	
3 水		AB音楽2 朝日 文 II 406	日本史2	瀬山 文II 403		国語教材1	長野 短・会				
4 木			AB幼児教育2	永井 4 短 102		ABリトミック3	小野 芸Ⅲ・リトミック		①習字2	石川 威彦園	
5 金			折り紙1, 2	小川 短・101					②習字2	石川 威彦園	
6 土		AB表現教育3 方 芸Ⅲ 501				懐石料理					
7 日											13:00放課鑑賞 15:30

	9:00	10:30	10:40	12:10	13:00	14:30	14:40	16:10
7/8	1	10:30	10:40	12:10	13:00	14:30	14:40	16:10
9	火	AB音楽3 朝日 文II 405	近代短歌3 金平 短・会 日本語を考える3 片山 文II 309	AB幼児教育3 永井(四) 短・405 美術3 佐藤 芸III・造	AB幼児教育3 永井(四) 短・405	音楽 小宮路 小・音楽室	AB15:00	
10	水	日本史3 瀬山 短・会	国語教材2 長野 文II 403 AB幼児教育4 永井(四) 短・102	AB体育1 白井 記念大体操 AB古典芸能1 桂月 文I 405	①習字3 石川 威彦園 ②習字3 石川 威彦園			
11	木		折り紙3,4 小川 短・101					
12	金	AB9:30鎌倉ツアー						
13	土							
14	日							
15	月		日本の文字3 平山 短・502	AB音楽2 千原 中・音楽室 美術4 佐藤 芸III・造	海外日本語教育3 上原 短・会			
16	火		日本語を考える4 片山 短・会					
17	水							
18	木		AB表現教育4 方 芸III 501	AB表現教育4 方 芸III 501	AB古典芸能2 桂月 短・404	①習字4 石川 威彦園		
19	金		折り紙5,6 小川 短・101					
20	土	AB表現教育5 方 芸III 501	AB現地授業研究4 正善 文II 401					
21	日							
22	月		AB教育を考える1,2 石橋 短・202	AB教育を考える1,2 石橋 短・202				
23	火		AB教育を考える3,4 石橋 短・202	AB教育を考える3,4 石橋 短・202				
		○ 7/24~8/20 通大夏期スクーリング					ABアンケート	
		○ 8/21 14:00~15:30 障地教育に関する講演					(8/6~8/8 学校劇夏期大学に参加)	
		8/22 10:00~11:30 全国障地教育研究会事務局局長 小林吉郎先生						
		○ 8/23 筑波科学博見学						

日語教師本邦研修第3期スケジュール

(60. 8.26 ~ 8.29)

60. 5. 27

月 日	曜	I (10:00~11:50)	II (13:00~14:50)	III (15:00~16:50)
8 / 26	月	現地授業研究 (正 善)	日本語教授法 (小 峰)	日本語教授法 (小 峰)
27	火	口頭表現 (河原崎)	口頭表現 (河原崎)	口頭表現 (河原崎)
28	水	現地授業研究 (正 善)	文法・文型 (森 田)	文法・文型 (森 田)
29	木	日本語児童教育 (白 鳥)	文法・文型 (森 田)	文法・文型 (森 田)
30	金	日本語児童教育 (白 鳥)	日本語児童教育 (正 善(多))	日本語児童教育 (正 善(多))

小 峰 俱 子 : 国際学友会教師

河原崎 幹 夫 : 東京外国語大学外国語学部附属日本語学校
教授

森 田 富美子 : 国際学友会教師

白 鳥 幸 子 : ジャパンインターナショナルスクール
主任教師

正 善 達 三 : 玉川大学講師

正 善 多寿子 : ジャパンインターナショナルスクール講師

8月31日 ~ 9月2日 関西研修旅行

9月3日 ~ 9月10日 出身地研修

9月12日 本部にて修了式

9月13日 玉川大学修了式

Bコース (全期間: 60. 5. 17~61. 3. 20)

	9:00	10:30	10:40	2.	12:10	13:00	3.	14:30	14:40	4.	16:10
5/21 火			来園	キャンプバス・ツアー		昼食会	オリエンテーション				
22 水			日本史1	瀬山 短・会		国語教材1	長野 文II 207		⑩ 音楽1	教・1年	
23 木	日本の文字1	平山 短・502	美術1	佐藤 芸III・造		海外日本1	上原 短・会		アンケート		
24 金			ハトバス・ツアー								
25 土											
26 日											
27 月											
28 火			日本語を考える1	片山 短・会		美術2	佐藤 芸III・造		現地授業研究	正善 短・会	
29 水			日本史2	瀬山 短・会		国語教材2	長野 文II 207		⑪ 音楽2	教・1年	
30 木		ジャパン・インター ナショナル・スクール参観									
31 金			文章表現1	金平 短・会		体育1	永井 (三)		大体多目的		
6/1 土											
2 日											
3 月										海外日本2	上原 短・会
4 火			幼稚部参観								
5 水			日本史3	瀬山 短・会		国語教材3	長野 文II 207		⑫ 音楽3	教・1年	
6 木	日本の文字2	平山 短・502	美術3	佐藤 芸III・造		海外日本3	上原 短・会				
7 金	国語教材	長野 文II 207	文章表現2	金平 短・会		体育2	永井 (三)				
8 土											
9 日											

	9:00	10:30	10:40	12:10	13:00	14:30	14:40	16:10
	1.	2.	3.	4.				
6/10 月								
11 火		日本語を考える2 片山 短・会						
12 水	大泉小学校参観							
13 木	日本の文字3 平山 短・502	美術4 佐藤 芸Ⅲ・造	海外日本4 上原 短・会					
14 金		文章表現3 金平 短・会	体育3 永井(三)					
18 火								
19 水		国語教材 4長野					授音楽4 教・1年	
20 木	日本の文字4 平山 短・会		ABリトミック 小野					
21 金								
22 土	AB表現教育 方 芸Ⅲ 501	AB現地授業研究1 正管						
23 日								
24 月		文章表現4 金平	AB幼児教育1 永井4					
25 火	AB音楽 朝日 希望文Ⅱ 503							
26 水	国際学友会参観							
27 木	8:20小学部参観		ABリトミック 小野	懇談会				
28 金			文章表現5 金平 短・会	AB美術 山崎 小・美術	19:00日本民族舞踊鑑賞			
29 土	AB表現教育 方 芸Ⅲ 501		中学部音楽祭					
30 日								
7/1 月		文章表現6 金平	AB音楽 千葉					
2 火		日本語を考える3 片山 短・会					国語教材5 長野	

	9:00	10:30	12:10	13:00	14:30	14:40	16:10
7/3	水	AB音楽 朝日 希望文Ⅱ 503	10:40 2. 長野 短・会	12:10	13:00 3.	14:30	14:40 4. 16:10
4	木	日本の文字5 平山 短・会	AB幼児教育2 永井4 短・102	AB折り紙-小川	ABリトミック 小野 芸Ⅲリトミック		
5	金						
6	土	AB表現教育 方 芸Ⅲ 501		AB機石料理			
7	日			AB13:00 演芸鑑賞		15:30	
8	月		国語教材7 長野	AB幼児教育3	永井4 短・405	授AB15:00音楽 小宮路	
9	火	AB音楽 朝日		日本語を考える4 片山			
10	水		日本史4 瀬山 短・会	AB体育1 臼井 体操場		音楽5 教・1年	
11	木		AB幼児教育4 永井4 短・102	AB古典芸能 法月			
12	金		AB折り紙 小川				
13	土	AB9:30 鎌倉ツア-					
14	日						
15	月		文章表現7 金平	AB音楽 千葉			
16	火			日本語を考える5 片山 短・会		AB現地授業研究2 正警	
17	水		日本史5 瀬山 短・会	AB体育2 臼井 体操場		AB現地授業研究3 正警	
18	木		AB表現教育 方 芸Ⅲ 501	AB古典芸能 法月			
19	金		AB折り紙 小川				
20	土	AB表現教育 方 芸Ⅲ 501	AB現世教育研究4 正警			14:30 歌謡交響 17:03	
21	日						
22	月		AB教育を考える 石橋				

8/5	月	8:40	10:00	10:10	11:30	12:30	13:50	14:00	15:20	15:40	3.	17:00
6	火	学校劇夏期大学										
7	水											
8	木											
9	金											
10	土											
11	日											
12	月											
13	火											
14	水											
15	木											
16	金											
17	土											
18	日											
19	月											
20	火	15:30~ 夏期スケーリング閉講式										
21	水	僻地教育 小林 短大										
22	木	僻地教育 小林 短大										
23	金	筑波科学博見学										

日語教師本邦研修第3期スケジュール

(60. 8. 26 ~ 8. 29)

60. 5. 27

月 日	曜	I (10:00~11:50)	II (13:00~14:50)	III (15:00~16:50)
8 / 26	月	現地授業研究 (正 善)	日本語教授法 (小 峰)	日本語教授法 (小 峰)
27	火	口頭表現 (河原崎)	口頭表現 (河原崎)	口頭表現 (河原崎)
28	水	現地授業研究 (正 善)	文法・文型 (森 田)	文法・文型 (森 田)
29	木	日本語児童教育 (白 鳥)	文法・文型 (森 田)	文法・文型 (森 田)
30	金	日本語児童教育 (白 鳥)	日本語児童教育 (正 善(多))	日本語児童教育 (正 善(多))

小 峰 俱 子 : 国際学友会教師

河原崎 幹 夫 : 東京外国語大学外国語学部附属日本語学校
教授

森 田 富美子 : 国際学友会教師

白 鳥 幸 子 : ジャパンインターナショナルスクール
主任教師

正 善 達 三 : 玉川大学講師

正 善 多寿子 : ジャパンインターナショナルスクール講師

9月2日 ~ 21日 女子特別研修 於・国女研

9月24日 ~ 10月2日 出身地研修 於・各人の出身地

		9:00	10:30	10:40	12:10	13:00	14:30	14:40	16:10
		1.		2.		3.		4.	
10/7	月	日本語教材 長野 文II 502	日本語教材 長野 文II 502	日本史 瀬山 短・会	日本史 瀬山 短・会	幼児教育 永井 短・会	幼児教育 永井 短・会	音楽 小宮路 小・音楽室	
8	火								
9	水								
10	木	体育祭見学							
11	金								
12	土	表現教育 方 芸III 501							
13	日								
14	月	日本語教材 長野 文II 502	日本語教材 長野 文II 502	日本史 瀬山 短・会	日本史 瀬山 短・会	幼児教育 永井 短・会	幼児教育 永井 短・会	音楽 小宮路 小・音楽室	
15	火								
16	水								
17	木	音楽 千葉 中・音楽室	音楽 千葉 中・音楽室	美術 佐藤 芸III・造形	美術 佐藤 芸III・造形	普通A 石川 同窓会	普通B 石川 同窓会	海外日本 上原 文II 401	
18	金	文章表現 金平 文II 503	文章表現 金平 文II 503	体育 三橋 大体・多目的	体育 三橋 大体・多目的	文法 片山 短・会	文法 片山 短・会		
19	土	表現教育 方 芸III 501	表現教育 方 芸III 501	文章表現 金平 文II 503	文章表現 金平 文II 503				
20	日								
21	月								
22	火	京都・奈良旅行	京都・奈良旅行						
23	水	引率：瀬山	引率：瀬山						
24	木								
25	金								
26	土	表現教育 方 芸III 501	表現教育 方 芸III 501	文章表現 金平 文II 503	文章表現 金平 文II 503				

	9:00	10:30	10:40	2.	12:10	13:00	3.	14:30	14:40	4.	16:10
10/27	日										
28	月	日本語教材 長野 文II 502	日本史 瀬山 短・会 体育 三橋 大休・多目的			幼児教育 永井 短・会 美術 佐藤 芸III・造形		音楽 小宮路 小・音楽室 文法 片山 短・会			
29	火					普通B 石川 同窓会		普通A 石川 同窓会			
30	水										
31	木										
11/1	金										
2	土		コスモス祭								
3	日										
4	月										
5	火										
6	水		文楽表現 金平 文II 503 美術 佐藤 芸III・造形			普通A 石川 同窓会		普通B 石川 同窓会			
7	木		音楽 千葉 中・音楽室					海外日本 上原 文II 401			
8	金					文法 片山 短・会					
9	土										
10	日										
11	月	日本語教材 長野 文II 502	日本史 瀬山 短・会			幼児教育 永井 短・会 文法 片山 短・会		音楽 小宮路 小・音楽室			
12	火					普通B 同窓会		普通A 同窓会			
13	水		文楽表現 金平 文II 503 美術 佐藤 芸III・造形					海外日本 上原			
14	木	音楽 千葉 中・音楽室									
15	金										第9演奏会

	9:00	10:30	10:40	2.	12:10	13:00	3.	14:30	14:40	4.	16:10
11/16	土										
17	日										
18	月	日本語教材 長野 文II 502	日本史 瀬山 短・会	日本史 瀬山 短・会	高等部音楽祭		(新宿文化センター)				
19	火										17:00歌舞伎鑑賞
20	水						香道A 同窓会	香道B 同窓会			
21	木		美術 佐藤 芸Ⅲ・造形	美術 佐藤 芸Ⅲ・造形				海外日本 上原 文II 401			
22	金		収穫祭								
23	土										
24	日										
25	月	日本語教材 長野 文II 502	日本史 瀬山 短・会	日本史 瀬山 短・会	幼児教育 永井 短・会		音楽 小宮路 小・音楽室				
26	火						文法 片山 短・会				
27	水		文章表現 金平 文II 503	文章表現 金平 文II 503	香道B 石川 同窓会		香道A 石川 同窓会				
28	木		美術 佐藤 芸Ⅲ・造形	美術 佐藤 芸Ⅲ・造形			海外日本 上原 文II 401				
29	金										
30	土		音楽祭								
12/1	日										
2	月		JICA研修								
3	火						文法 片山 短・会				
4	水		文章表現 金平 文II 503	文章表現 金平 文II 503	香道A 石川 同窓会		香道B 石川 同窓会				
5	木	音楽 千葉 中・音楽室	美術 佐藤 芸Ⅲ・造形	美術 佐藤 芸Ⅲ・造形			海外日本 上原 文II 401				

	9:00	10:30	10:40	2.	12:10	13:00	3.	14:30	14:40	4.	16:10
12/6	金										
7	土										
8	日										
9	月	日本語教材 長野 文Ⅱ 502	日本史 瀬山 短・会		幼児教育 永井 短・会	音楽 小宮路 小・音楽室					
10	火				文法 片山 短・会						
11	水		文章表現 金平 文Ⅱ 503		香道B 石川 同窓会	香道A 石川 同窓会					
12	木		美術 佐藤 芸Ⅲ・造形			海外日本 上原 文Ⅱ 401					
13	金										
14	土										
15	日										
16	月										
17	火										
18	水										
19	木										
20	金		クリスマス礼拝								

S. 61.	1.	10:30	10:40	2.	12:10	13:00	3.	14:30	4.	16:10
1/10	金		文章表現1	金平						全学始業
11	土									
12	日									
13	月	日本語教材 長野 文II 501.	日本史1	瀬山 短・会			日本語教材研究1	長野		
14	火					日本語を考える1	片山 短・会			
15	水	成人の日								
16	木									
17	金		体育1	三橋						
18	土									
19	日									
20	月	日本語教材 長野 文II 501	日本史2	瀬山 短・会					日本語教材2	長野
21	火					日本語を考える2	片山 短・会		晋道A1	石川
22	水					晋道B1	石川			
23	木							海外日本語教育1	上原	
24	金		体育2	三橋		文章表現2	金平			大学平常授業終了
25	土									
26	日									
27	月		日本史3	瀬山 短・会					日本語教材3	長野
28	火					日本語を考える3	片山 短・会		晋道A2	石川
29	水		日本史4	瀬山 短・会		晋道B2	石川			

	1.	2.	3.	4.
	9:00	10:40	13:00	14:40
	10:30	12:10	14:30	16:10
1/30 木			美術1 佐藤 芸Ⅲ・造形	美術2 佐藤 芸Ⅲ・造形
31 金		文章表現3 金平		
2/1 土				
2 日				
3 月		日本史⑤ 瀬山 短・会		日本語教材4 長野
4 火		日本語を考える4 片山 短・会	美術3 佐藤 芸Ⅲ・造形	美術4 佐藤 芸Ⅲ・造形
5 水				
6 木				
7 金	スキー学校			
8 土				
9 日				
10 月	休み			
11 火	建国記念日			
12 水	日本語教材5 長野		書道展覧会	
13 木		書道A3 石川	書道B3 石川	海外日本語教育2 上原
14 金		文章表現4 金平		日本語を考える5 片山 短・会
15 土				
16 日				
17 月	JICA側プログラム予定		東京外国語大学日本語学校見学	

	9:00	10:30	10:40	2.	12:10	13:00	3.	14:30	4.	16:10
2/18 火						書道A4 石川		書道B4 石川		
19 水	表現教育1 方 芸Ⅲ 501		表現教育2 方 芸Ⅱ 501			美術5 佐藤 芸Ⅲ・造形		美術6 佐藤 芸Ⅲ・造形		
20 木	表現教育3 方 芸Ⅲ 501		表現教育4 方 芸Ⅱ 501					海外日本語教育3 上原		
21 金			文芸表現⑥ 金平			美術7 佐藤 芸Ⅲ・造形		美術③ 佐藤 芸Ⅲ・造形		
22 土	小学部発表会(礼拝堂)									
23 日										
24 月								日本語教材① 長野		
25 火			日本語を考える⑥ 片山 短・会		書道A⑤ 石川			書道B⑤ 石川		
26 水	表現教育5 方 芸Ⅲ 501		表現教育6 方 芸Ⅲ 501							
27 木	表現教育7 方 芸Ⅲ 501		表現教育⑧ 方 芸Ⅱ 501					海外日本語教育④ 上原		
28 金	JICA側プログラム予定					凡人社教材説明				

昭和60年度現地日本語教師本邦研修生名簿（3ヶ月コース）

氏名	推せん支部	地区	年齢	性別	国籍	出身地	学歴	所属学校	名
1 山根 縁	ベレ	パラ州トメアス郡	45	女	日本	山口	短大卒	第二トメアス日本語学校	
2 繩曲 ますみ	"	パラ州イガツツベアス郡	35	女	日本	青森	高卒	イガツツベアス日本語学校	
3 竹村 美代子	シフ	バイア州イツベラ郡	42	女	日本	東京	大卒	イツベラ日本語学校	
4 三阪 尚子	リオ・デ・ジャネイロ	ミナス・ジェライス州イパチガ市	42	女	日本	広島	高卒	イパチンガン日本語学校	
5 菊登 弘子	サンパウロ	サンパウロ市	45	女	日本	東京	高卒	ピラマリア日本語学校	
6 佐藤 吉弘	"	"	47	男	日本	北海道	高卒	ジャグラーひまわり学園	
7 佐藤 三翁クララ	"	パラナ州クリチーバ市	35	女	ブラジル		大卒	クリチーバ日伯文化援護協会日語講座	
8 菅野 初江	ポルト・アレグレ	リオグランデドスル州カシヨエラドスル市	48	女	日本	北海道	中卒	カンヨエラドスル日本語学校	
9 花岡 卓智	アスンシオン	アマゾンハイイ州	46	女	日本	高知	中卒	アマゾンハイイ日本語学校	
10 跡 敏義	"	イタプア州	40	男	日本	山口	高中退	ラパス日本語学校	
11 木田 祐子	フェノス・アイレス	ブエノス・アイレス市	45	女	日本	熊本	短大卒	アカスーン日本語学校	
12 志賀 美和子	サンタ・クルス	サンタ・クルス市	43	女	日本	高知	高中退	サンタクルス日本語学校	
13 川畑 隆代	サンクトドミンゴ	ラベガ州	49	女	日本	熊本	中卒	ラベガ日本語学校分校	
14 菜田 富士子	ボタゴ	パジエ州	54	女	日本	愛知	高卒	コロンビア日系人協会付属日本語学校ひかり園	
15 一木 順美	トロント	オンタリオ州ウイロデイル	48	女	日本	青森	高卒	トロント国語教室日本語学校	
16 山田 美枝	ウルグアイ大使館	モンテビデオ市	57	女	日本	兵庫	専門卒	ウルグアイ日本人会付属日本語学校	

昭和60年度現地日本語教師本邦研修生名簿(1年コース) Bコース

氏名	推せん支部	地	区	年令	性別	国	籍	出身地	学歴
1 上 田 意 美	サン・パウロ	サン・パウロ	ロ	22	女	ブ	ラジ	長崎	大卒
2 森 仁 子 マルガレテ	"	"	"	23	女	ブ	ラジ	福岡	大卒
3 坂 川 華 枝 イザウラ	"	ロンドン	ナ	23	女	ブ	ラジ	茨城	大卒
4 齋 野 音 合 子 テレザ	"	サン・パウロ	ロ	23	女	ブ	ラジ	福島	大卒
5 玉 田 ル シ ア め ぐ み	"	ア	ヤ	27	女	ブ	ラジ	宮城	大卒
6 津 島 ジ ル ダ	"	サン・パウロ	ロ	24	女	ブ	ラジ	宮崎	大卒
7 池 田 グ ロ リ ア	マ	マリ	マ	31	女	ペ	ル	栃木	高卒
8 杉 山 ノ ル マ ク リ ス テ ィ ー ナ	ブエノス・アイレス	ブエノス・アイレス	ス	31	女	アルゼンティン	ン	腎森	大卒
9 井 内 興 子	ベ	パ	ラ	24	女	ブ	ラジ	北海道	大卒
10 矢 口 真 理 子	トロント	トロント	ト	23	女	カナ	ダ	神奈川	大卒

